Pioneer sound.vision.soul

DVD プレーヤー

DV-U7

このたびは、パイオニア製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、お客様に快適に楽しんでいただける様、過去弊社のDVDプレーヤーをお買い求めいただいたお客様の声を「Q&A」として随所に盛り込んでおります。
どうぞご一読ください。

古紙配合率100%再生紙を使用しています

お客様登録のご案内

http://www3.pioneer.co.jp/members/

お買い上げいただきました製品についての**「お客様登録」**をお願いいたします。
ご登録いただきますと、プレゼントや懸賞商品が当たるキャンペーン/イベント情報や各種製品情報などのご案内をさせていただきます。
また、ご登録いただきますとIDが発行され、お役に立つ情報満載のお客様専用ページにアクセスすることができます。
ご登録は上記URLにアクセスしてご利用ください。

新規登録されたお客様には、毎月プレゼントを抽選にて差し上げております。詳しくは、上記URLにアクセスしてください。

取扱説明書

DVDを見る
各部のなまえ
DVDの再生
いろいろなディスクの再生
音場設定
接続
セットアップナビゲーター
初期設定
基礎知識
付録

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」「安全上のご注意」は、「保証書」「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意(絵表示について)

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

警告[異常時の処理]

プラグを抜く

- **万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。**

プラグを抜く

- **万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。**

プラグを抜く

- **万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。**

もくじ

さっそくＤＶＤを見ましょう!........ 4

ポイント①: すぐに使いたい!
「何から始めたら良いかわからない!」、「とりあえず早くＤＶＤを見たい!」というときご覧ください。

ポイント②: 困った!
項目ごとにＱ＆Ａがあります。「なぜ?」「どうして?」というとき参考にしてください。

付属品の確認をしましょう 4
リモコンに電池を入れましょう 4
テレビに接続しましょう 5
テレビの電源を入れましょう 6
テレビの入力を切り換えましょう 6
電源を入れましょう 6
テレビの種類を選びましょう 7
ＤＶＤをセットしましょう 7
それではＤＶＤを再生しましょう! 8
ちょっと場面を進めたいときは早送りしましょう 9
ちょっと場面を戻したいときは早戻ししましょう 9
ちょっと休憩というときは一時停止しましょう 9
字幕スーパー版の映画を吹き替え版にしましょう 10
ＤＶＤを停止しましょう 11
電源を切りましょう 11

こんなこともできます 12

ポイント①: 簡単検索!
P.12-13では、本機のいろいろな使いかたや機能を一覧でのせています。もくじとしてお使いください。

ポイント②: もっと使いたい!
「こんなことがしたい!」「こんなことはできる?」と思われたときにご覧ください。

読んでみてください!～基礎知識～ **50**

知っておくと役に立つ基礎的な情報をのせています。もっとＤＶＤのことを知りたいと思われたら、ぜひ読んでみてください。

付録 **58**

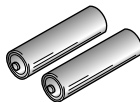
Ｑ＆Ａ、索引、および初期設定一覧などがあります。

さっそくDVDを見ましょう！

1 付属品の確認をしましょう

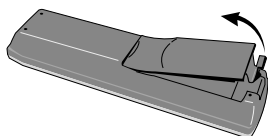
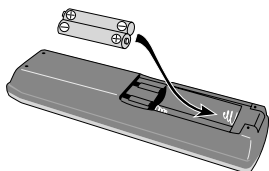
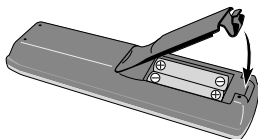
リモコン

オーディオ・ビデオコード

単3形乾電池(R6P・2本)

電源コード

- 保証書
- 安全上のご注意
- 取扱説明書(本書)
- DVDプレーヤー簡単ガイド
- ご相談窓口・修理窓口のご案内

2 リモコンに電池を入れましょう

① 裏ブタのタブを押しながら矢印の方向へ開く。

② ケース内に表記されている極性⊕(プラス)/⊖(マイナス)を合わせて、乾電池を正しく入れる。

③ フタを矢印の方向に閉める。

注 意

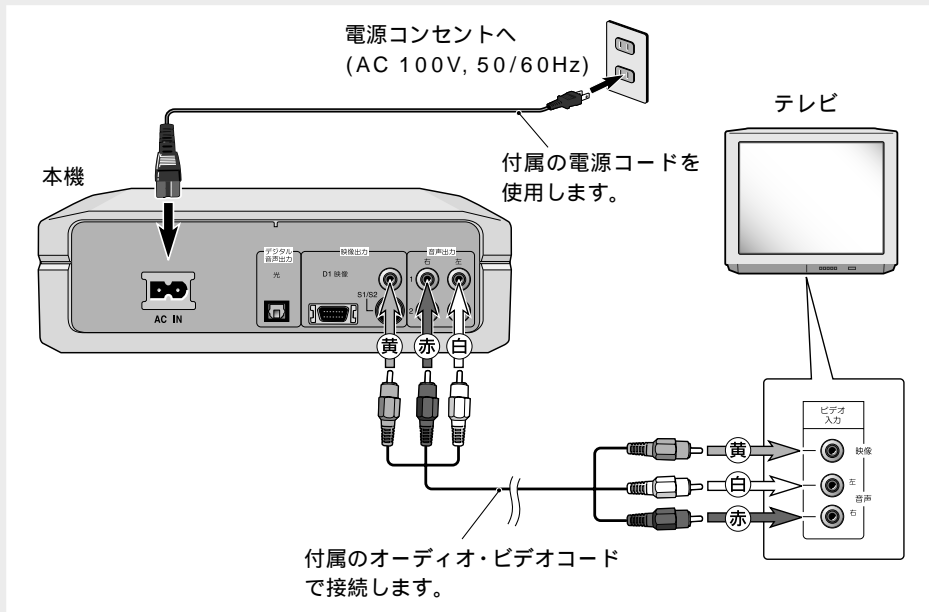
◆ 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。

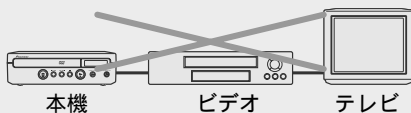
◆ 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

◆ 長い間(1ヵ月以上)リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭きとってから新しい乾電池を入れてください。

◆ 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。

3 テレビに接続しましょう

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

注 意

◆ **本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。**
本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのテレビメーカーにお問い合わせください。

Q&A

Q1: 5.1 チャンネルサラウンドサウンドを楽しみたい！どんな接続をしたらいいですか？
→ **P.37** をご覧ください。

Q2: S 映像端子に接続できますか？
→ できます。別売りの専用ケーブルが必要です。**P.38** をご覧ください。

Q3: D 映像端子に接続できますか？
→ できます。別売りの専用ケーブルが必要です。**P.38** をご覧ください。

Q4: モノラル音声入力端子に接続できますか？
→ できます。別売りの専用ケーブルが必要です。**P.36** をご覧ください。

4 テレビの電源を入れましょう

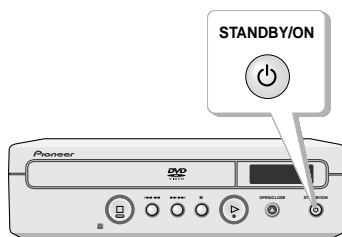
テレビのリモコン、またはテレビ本体の電源ボタンで電源を入れます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

5 テレビの入力を切り換えましょう

テレビのリモコン、またはテレビ本体の入力切換ボタンで切り換えます。例えば、本機をテレビのビデオ入力２端子に接続したときはビデオ入力２を選びます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

6 電源を入れましょう

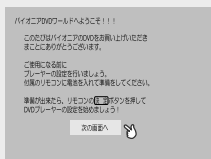
本体の⏻STANDBY/ON ボタンを押す。

または

リモコンの⏻電源ボタンを押す。

テレビ画面に下記のように表示されれば映像の接続は OK!

① まず[Pioneer]が表示されます。

⬇

② 次に下記の画面が表示されます。

③ リモコンの**決定ボタン**を押して 7 に進みます。

メ モ

▼ 本機の操作を 5 分以上行わないとテレビ画面にスクリーンセーバーが表示されます(再生中は表示されません)。

Q&A

Q1: 電源が入らない！

→ 電源コードが正しくコンセントに接続されていますか？(**P.5**)

Q2: 映像が映らない！

→ オーディオ・ビデオコード(黄)が正しく接続されていますか？(**P.5**)

→ テレビの入力切換を合わせましたか？接続したビデオ入力に合わせてください。

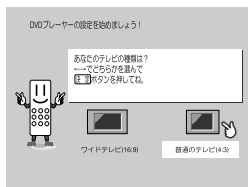
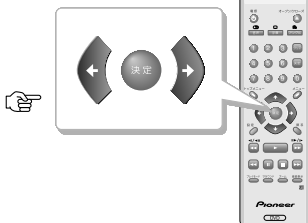
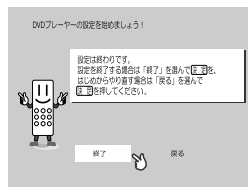
Q3: リモコンで操作できない！

→ 本体との距離が離れすぎていませんか？約 4 m の範囲で操作することができます。

→ リモコンをテレビに向けて操作していませんか？本体のリモコン受光部に向けて操作してください(**P.14**)。

→ 本機を蛍光灯の近くに設置していませんか？蛍光灯から離れた場所に設置してください。

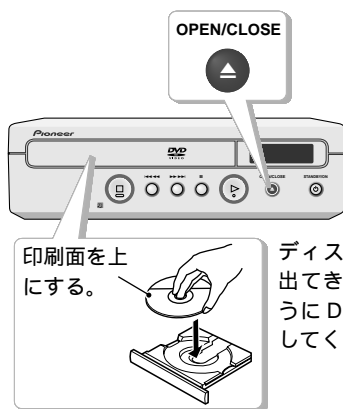
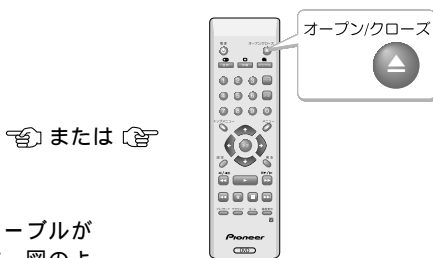
7 テレビの種類を選びましょう

お使いのテレビが[ワイドテレビ(16:9)]か[普通のテレビ(4:3)]かを選択します。

リモコンの ⇦⇨ で選択。決定ボタンで次の画面へ。

リモコンの⇦⇨で選択。決定ボタンで設定[終了]、または最初の画面に[戻る]。

メ モ

▼ [***DVD プレーヤーの設定を始めましょう！***]の画面は、一度設定すると次に電源を入れたときは表示されません。

▼ [***DVD プレーヤーの設定を始めましょう！***]の画面終了後にテレビの種類を変更したいときは、初期設定の**[テレビ画面]**(**P.43**)で設定してください。

8 DVD をセットしましょう

本体の ▲OPEN/CLOSE ボタンを押す。

リモコンの▲オープン/クローズボタンを押す。

ディスクテーブルが出てきます。図のようにDVD をセットしてください。

DVD をセットしたら、本体の**▲OPEN/CLOSE ボタン**(またはリモコンの**▲オープン / クローズボタン**)を押して、ディスクテーブルを閉めます。

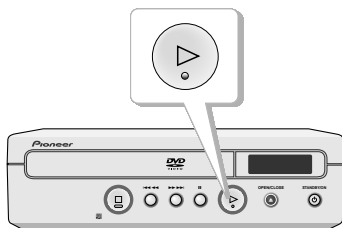
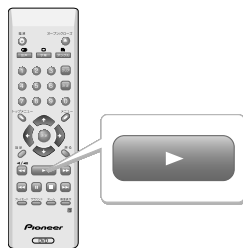
メ モ

▼ ディスクテーブルを閉めると自動的に再生を始める DVD もあります。

▼ 本体の **▲OPEN/CLOSE ボタン**を押して電源を入れることもできます。

9 それでは DVD を再生しましょう！

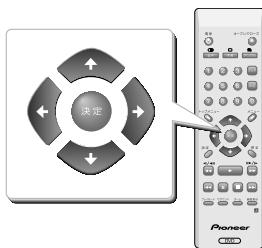
本体の ► ボタンを押す。

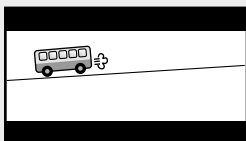
☜ **または** ☞

リモコンの ► ボタンを押す。

DVD のメニュー画面が表示されたら･･･

再生を始めると最初にメニュー画面を表示するDVDがあります(メニュー画面の内容や操作方法はDVD によって異なります)。

こんな画面が表示されたら･･･。

☞

リモコンの ⇧ ⇩ ⇦ ⇨ で選択。決定ボタンで決定。
(リモコンの数字ボタンで番号を選択して再生することもできます。)

メ モ

▼ 下記のように画面の上下に黒い帯がつくDVD があります。本機の故障ではありません。

Q&A

Q1: ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう！

Q2: 再生できない！

→ DVDがディスクテーブルに正しくセットされていますか？

→ DVD が汚れていませんか？ DVD をクリーニングしてください(**P.55**)。

→ DVDの表裏が正しくセットされていますか？

→ リージョン No. が一致していますか？本機で再生できるリージョン No. は**「2」**と**「ALL」**のみです(**P.52, 57**)。

→ 本機の内部が結露している可能性があります。結露を除去してください(**P.54**)。

10 ちょっと場面を進めたいときは早送りしましょう

リモコンの ►► ボタンを押す（または本体の ►► ►►I ボタンを押し続ける）。

1 回押すと･･･速い
[スキャン 1 ►►]とテレビ画面に表示されます。
⬇
2 回押すと･･･もっと速い
[スキャン 2 ►►]とテレビ画面に表示されます。
⬇
3 回押すと･･･さらに速い
[スキャン 3 ►►]とテレビ画面に表示されます。
（本体の ►► ►►I ボタンで操作したときはスキャン 1 のみとなります。）

見たい場面まで進めたら ► ボタンを押す（本体の ►► ►►I ボタンのときは指を離す）。

11 ちょっと場面を戻したいときは早戻ししましょう

リモコンの ◄◄ ボタンを押す（または本体の I◄◄ ◄◄ ボタンを押し続ける）。

1 回押すと･･･速い
[スキャン 1 ◄◄]とテレビ画面に表示されます。
⬇
2 回押すと･･･もっと速い
[スキャン 2 ◄◄]とテレビ画面に表示されます。
⬇
3 回押すと･･･さらに速い
[スキャン 3 ◄◄]とテレビ画面に表示されます。
（本体の ►► ►►I ボタンで操作したときはスキャン 1 のみとなります。）

見たい場面まで戻したら ► ボタンを押す（本体の I◄◄ ◄◄ ボタンのときは指を離す）。

12 ちょっと休憩というときは一時停止しましょう

リモコンまたは本体の II ボタンを押す。

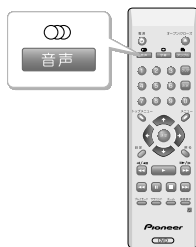
通常の再生に戻すときは ►、または II ボタンを押す。

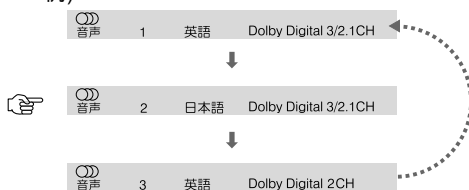
13 字幕スーパー版の映画を吹き替え版にしましょう

ここでは英語と日本語が収録されているディスクを例に説明します(ディスクによって収録されている言語数が異なります)。DVDによってはリモコンで音声や字幕を切り換えられないものがあります。このようなときは DVD のメニュー画面で切り換えることができます(**P.8**)。

音声を切り換えましょう

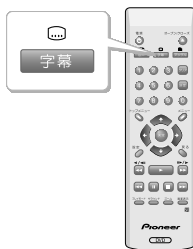
ここでは英語で聞こえる台詞を日本語にしましょう(もちろん複数の言語が収録されているDVDでは他の言語を選ぶこともできます)。

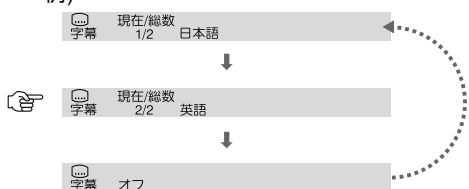
DVDを再生しているときにリモコンの音声ボタンを押す。

押すたびに下記のように切り換わります。

例)

＊ 3/2.1CH はディスクに記録されている音声のチャンネル数です。詳しくは**P.57**をご覧ください。

字幕を切り換えましょう

音声の切り換えで台詞を日本語にしたので字幕はオフを選びます(もちろん複数の言語が収録されている DVD では他の言語を選ぶこともできます)。

DVDを再生しているときにリモコンの字幕ボタンを押す。

押すたびに下記のように切り換わります。

例)

＊ 字幕が収録されていないときは[＿ ＿](アンダーバー)が表示されます。

メ モ

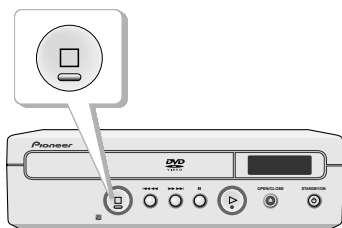
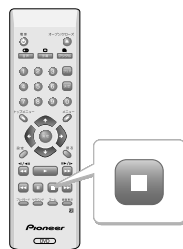
▼ ここで切り換えた音声、または字幕の設定は、下記のようなとき初期設定画面(**P.44**)の設定に戻ります。
⇨ リジューム機能(**P.11**)を解除したとき
⇨DVD を取り出したとき(**P.11**)

▼ 再生中の DVD によっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。

それでは思う存分 DVD の世界を楽しんでください！

14 DVDを停止しましょう

本体の ■ボタンを押す。

または

リモコンの ■ボタンを押す。

■ボタンを 1回押すと表示窓に･･･

STOP ➡ RESUME

･･･と表示され、停止した場所を記憶します(リジューム機能)。次に再生したときは停止した場所から再生します。DVDを取り出すとリジューム機能は解除されます。

停止中に**■ボタン**をもう一回押すと表示窓に･･･

DVD

･･･と表示され、リジューム機能が解除されます。次に再生したときはDVDの最初から再生します。

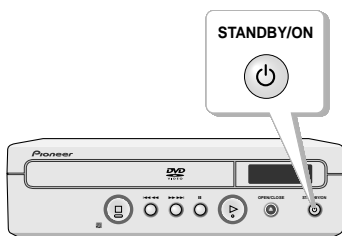
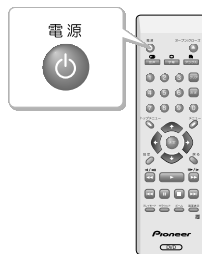
15 電源を切りましょう

電源を切る前にDVDを取り出しましょう。リモコンの**▲オープン/クローズボタン**(または本体の**▲OPEN/CLOSEボタン**)を押して、ディスクテーブルを開けてから取り出します。

本体の⏻STANDBY/ONボタンを押す。

または

リモコンの⏻電源ボタンを押す。

電源

リモコンの⏻**電源(本体の⏻STANDBY/ON)ボタン**を押すと表示窓に･･･

-OFF- ･･･と表示されます。

メモ

▼ 電源コードをコンセントから抜くときは、本体表示窓の[**-OFF-**]表示が消えていることを確認してください。[**-OFF-**]表示中に抜くと本機の設定が工場出荷時状態に戻ることがあります。

Q&A

Q1: 電源が自動的に切れてしまう

→ ディスクを再生していないとき(ディスクテーブルが閉まっている状態) で30分以上本体、またはリモコンの操作を行わないと、電源が自動的にスタンバイ状態になります(**オートパワーオフ機能**)。

こんなこともできます

DVD にはこんな再生のしかたもあります

ダイレクトサーチ(P.17)
見たいタイトルやチャプター番号を指定して見ることができます。

スキップ(頭出し)(P.17)
見たいチャプターを頭出しすることができます。

コマ送り再生(P.18)
映像をコマ送りして見ることができます。

スロー再生(P.18)
映像をスローで見ることができます。

プレイモード(P.19-23)
リピート、ランダム、プログラム、またはサーチモードなど再生方法の種類を選択することができます。

リピート再生(P.20)
タイトルやチャプターを繰り返し再生することができます。

ランダム再生(P.20)
タイトルやチャプターを順不同に再生することができます。

プログラム再生(P.21-22)
タイトルやチャプターの順番を変えて再生することができます。

サーチモード(P.23)
タイトル、チャプター、または時間を指定して見たい場所を探すことができます。

ディスクナビゲーター(P.24)
見たいタイトルやチャプターを指定して見ることができます。

マルチアングル(P.24)
複数のアングルが収録されているときアングルを切り換えることができます。

ズーム(P.25)
映像を拡大して見ることができます。

ディスクの情報(P.25)
タイトルやチャプターの経過時間や残り時間などを見ることができます。

こんなディスクも再生できます

MP3 の再生(P.26-31)
MP3 ファイルが記録されている CD-ROM を再生することができます。

ビデオ CD の再生(P.26-33)
ビデオ CD を再生することができます。

CD(CD-R/RW)の再生(P.26-31)
CD、または CD-R/CD-RW を再生することができます。

こんな機能もあります

オーディオ DRC(P.34)
大きい音を小さく、小さい音を大きく聞くことができます。

バーチャルサラウンド(P.35)
2 つのスピーカーのみでも臨場感のある立体音場を楽しむことができます。

こんな接続のしかたもあります

デジタル音声端子の接続(P.36)
デジタル音声入力端子のあるAVアンプなどとデジタル接続することができます。

アナログ音声端子の接続(P.36)
2chアナログ音声入力端子やモノラル音声入力端子のあるテレビなどと接続することができます。

5.1chサラウンドサウンド接続(P.37)
AVアンプなどとデジタル接続して5.1ch音声を楽しむことができます。

映像端子の接続(P.38)
D映像入力端子、またはS映像入力端子を持っているテレビなどと接続することができます。

こんな設定が変更できます

セットアップナビゲーター(P.39-40)
本機とAVアンプを接続したときに必要な設定を簡単に行うことできます。

デジタル音声出力の設定(P.41-42)
デジタル音声出力端子から音声を出力しない設定や接続したアンプが対応しているデジタル信号の種類を選ぶことができます。

テレビ画面の設定(P.43)
接続したテレビのサイズ(16:9=ワイド、または4:3=従来サイズ)を選択することができます。

S映像出力の設定(P.43)
S映像出力端子から出力される映像信号を切り換えることができます。

音声言語の設定(P.44)
初期設定画面で音声の言語を変更することができます。

字幕言語の設定(P.44)
初期設定画面で字幕の言語を変更することができます。

DVDメニュー言語の設定(P.45)
DVDに収録されているメニューを表示させる言語を変更することができます。

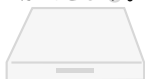
字幕表示の設定(P.45)
字幕を表示しないようにすることができます。

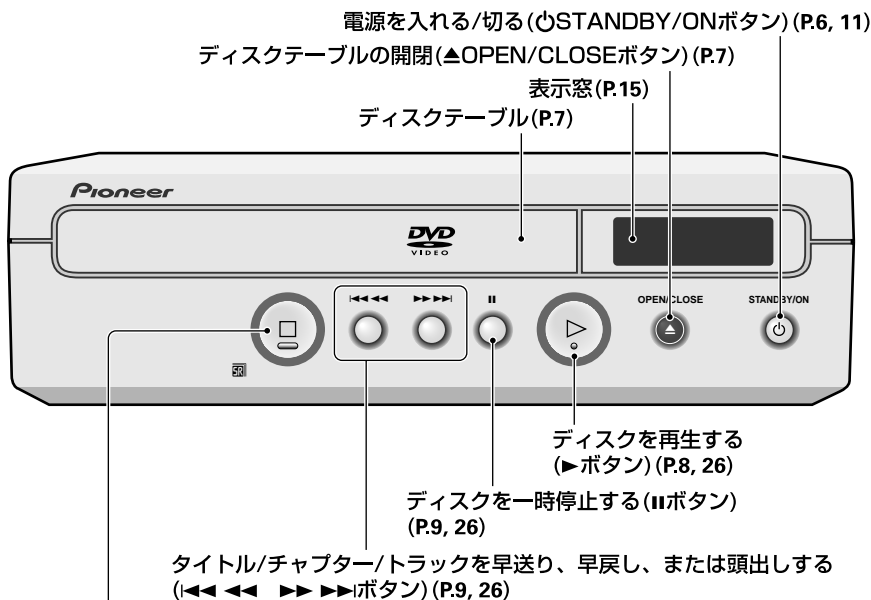
画面表示言語の設定(P.46)
初期設定画面などに表示される言語を切り換えることができます。

画面表示の設定(P.46)
画面に操作表示(「再生」、「停止」など)をしないようにすることができます。

アングルマーク表示の設定(P.46)
再生中に表示されるアングルマークを表示しないようにすることができます。

視聴制限の設定(P.47-49)
暴力シーンなどを収録したDVDの視聴を制限することができます。

初期化(P.49)
本機のすべての設定を工場出荷時に戻すことができます。

各部のなまえとはたらき

本体前面

メ モ

▼ 本機を蛍光灯の近くに設置するとリモコンの操作を受けづらくなることがあります。このようなときは、蛍光灯から離した場所に設置してください。

表示窓

タイトル番号が表示されているとき点灯(DVDのみ)

初期設定、メインメニュー、ディスク情報などを
表示しているとき点灯

DDV/TruSurroundが選択されているとき点灯(P.35)

TITLE GUI REMAIN

いろいろな情報を表示する

タイトル/チャプター/トラックの
残り再生時間が表示されていると
き点灯

本体背面

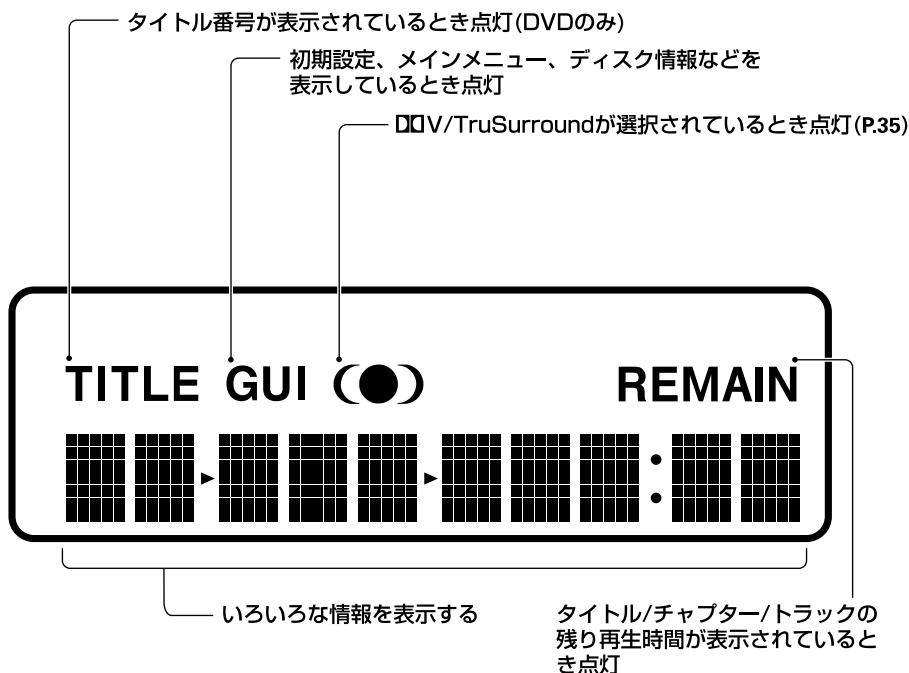
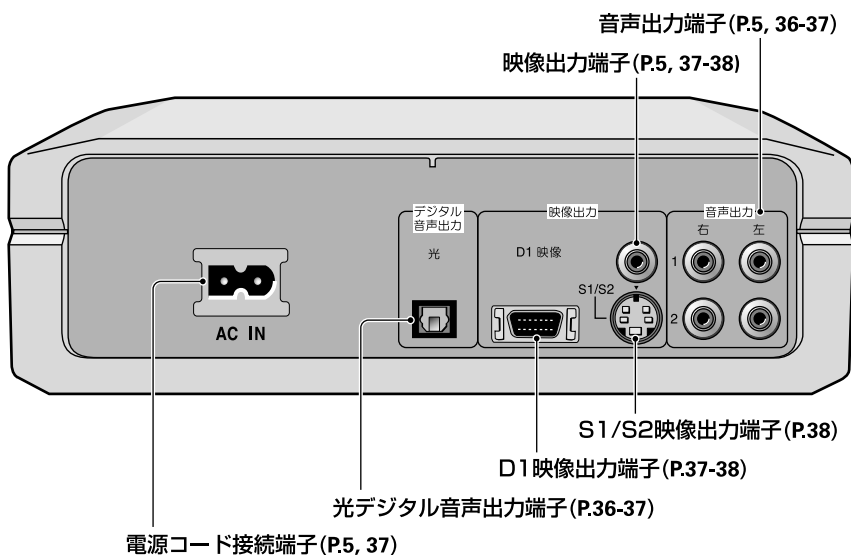
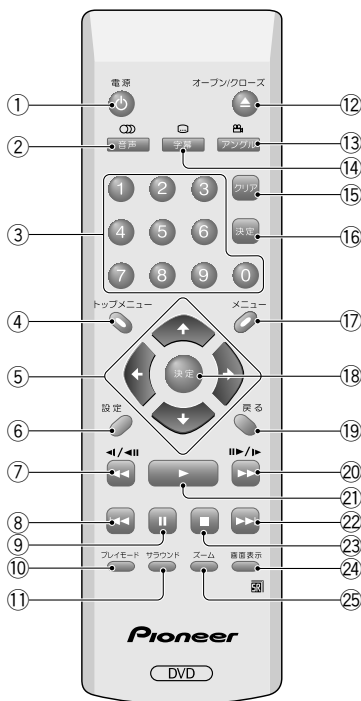
音声出力端子(P.5, 36-37)

映像出力端子(P.5, 37-38)

S1/S2映像出力端子(P.38)

D1映像出力端子(P.37-38)

光デジタル音声出力端子(P.36-37)

電源コード接続端子(P.5, 37)

リモコン

① ⏻電源ボタン — 電源を入れる / 切る(**P.6, 11**)。

② **音声ボタン** — DVDの音声言語、またはビデオ CD の音声を切り換える(**P.10, 33**)。

③ **数字ボタン** — 見たい / 聞きたいタイトル / チャプター / トラックなどから再生したいとき、またはメニュー画面で項目を選択するときなどに使う。**数字ボタン**で選択して、**決定ボタン**を押す、または 2 秒以上待つ(**P.8, 17, 26**)。

④ **トップメニューボタン** — DVDソフトの最上層のメニュー画面を表示する(**P.8**)。

⑤ ⇦ ⇨ ⇧ ⇩　— 項目を選択 / 変更する。またはカーソルを上下左右に移動する。

⑥ **設定ボタン** — 設定画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面をオフにする。

⑦ **◀◀/◀Ⅰ/◀II ボタン** — 再生中、映像や音声の早送り / 早戻しをする。一時停止中に押すと逆方向にコマ戻し再生、押し続けると逆方向にスロー再生をする(**P.9, 18, 26, 33**)。

⑧ **I◀◀ ボタン** — 現在再生中のチャプター / トラックの始めに戻る(**P.17, 26, 32**)。

⑨ **II ボタン** — 映像 / 音声を再生中に押すと、映像 / 音声が一時停止する。もう一度押すと通常の再生に戻る(**P.9, 26**)。

⑩ **プレイモードボタン** — プレイモード画面を表示させる(**P.19, 27**)。

⑪ **サラウンドボタン** — バーチャルサラウンド(立体音場)で再生する(**P.35**)。

⑫ **▲ オープン / クローズボタン** — ディスクテーブルを開閉する(**P.7**)。

⑬ **アングルボタン** — DVD のアングルを切り換える(**P.24**)。

⑭ **字幕ボタン** — DVDの字幕言語を切り換える(**P.10**)。

⑮ **クリアボタン** — リピート再生、ランダム再生、プログラム再生で設定した内容を取り消す。

⑯ **決定ボタン** — ⑱ と同じ。

⑰ **メニューボタン** — DVDソフトのメニュー画面を表示する。MP3、ビデオCDまたはCDでは、ディスクナビゲーター画面を表示する(**P.31**)。

⑱ **決定ボタン** — 設定した項目を実行する。

⑲ **戻るボタン** — 初期設定画面やメニュー画面が表示されているとき押すと 1 つ前の項目に戻る。

⑳ **▶▶/II▶/I▶ボタン** — 再生中、映像や音声の早送り / 早戻しをする。一時停止中に押すとコマ送り再生、押し続けると前方向にスロー再生をする(**P.9, 18, 26, 33**)。

㉑ **▶ ボタン** — ディスクを再生する(**P.8, 26**)。

㉒ **▶▶I ボタン** — 次のチャプター / トラックの始めに送る(**P.17, 26, 32**)。

㉓ **■ ボタン** — ディスクを停止する(**P.11, 26**)。

㉔ **画面表示ボタン** — ディスクの情報を表示する(**P.25, 31**)。

㉕ **ズームボタン** — 映像を拡大する(**P.25**)。

DVDにはこんな再生のしかたもあります

タイトル/チャプターを指定して再生しましょう(ダイレクトサーチ)

タイトルを指定して再生するには･･･

1.

停止中に数字(0 ～ 9)ボタンでタイトル番号を入力して、決定する

- 番号入力後、2 秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
- タイトルを指定して再生できないディスクもあります。

例) タイトル3を再生するには、**3**を押して**決定ボタン**を押します。

チャプターを指定して再生するには･･･

1.

再生中に数字(0 ～ 9)ボタンでチャプター番号を入力して、決定する

- 番号入力後、2 秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
- 現在再生中のタイトル内のチャプターのみを指定することができます。

例) チャプター12を再生するには、**1, 2**を押して**決定ボタン**を押します。

頭出しをしましょう(スキップ)

押した回数だけチャプターをスキップします。

見たいチャプターに進むには･･･

1.

再生中に ▶▶| ボタンを押す

次のチャプターに進みます。

見たいチャプターに戻るには･･･

1.

再生中に |◀◀ ボタンを押す

再生中ののチャプターの先頭に戻ります。2 回押すと 1 つ前のチャプターに戻ります。

コマ送り再生をしましょう

1. **再生中に II ボタンを押す**

一時停止になります。

2. II►/I► **II►/I► ボタンを押す**

押すたびにコマ送りします。

逆方向にコマ送り再生するには･･･

1. ◄I/◄II **一時停止中に ◄I/◄II ボタンを押す**

押すたびに逆方向へコマ送りします。

通常の再生に戻すには･･･

1. **► ボタンを押す**

メ モ

- ▼ コマ送りは音声が出力されません。
- ▼ コマ送り再生できないディスクもあります。
- ▼ 逆方向のコマ送り再生中､映像が揺れることがあります。
- ▼ 再生方向を変更したとき､一瞬映像が動くことがあります。

スロー再生をしましょう

1. **再生中に II ボタンを押す**

一時停止になります。

2. II►/I► **II►/I► ボタンを押し続ける**

[**スロー 1/16 I►**]と表示されます。指を離してもスロー再生を続けます。

逆方向にスロー再生するには･･･

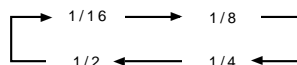
1. ◄I/◄II **一時停止中に ◄I/◄II ボタンを押し続ける**

通常の再生に戻すには･･･

1. **► ボタンを押す**

スロー再生の速さを変えるには･･･

1. II►/I► **スロー再生中に II►/I► ボタンを押す**

押すたびに下記のように速さが変わります。

逆方向のスロー再生の速さを変えるには･･･

1. ◄I/◄II **スロー再生中に ◄I/◄II ボタンを押す**

押すたびに[**スロー1**]⟷[**スロー2**]が切り換わります。

メ モ

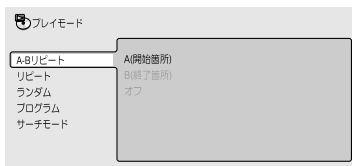
- ▼ スロー再生中は音声が出力されません。
- ▼ スロー再生できないディスクもあります。

プレイモード画面を表示させましょう

1. プレイモード

プレイモードボタンを押して、プレイモード画面を表示させる

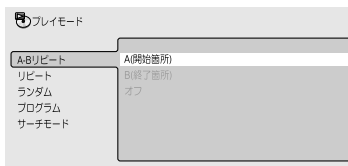
設定画面からもプレイモードを選択することができます(**設定ボタン**を押して、設定画面を表示します)。

2. **項目を選択する**

- **A-B リピート(P.19)**
  再生中のタイトル内の指定した範囲を繰り返し再生する。
- **リピート(P.20)**
  タイトルやチャプターを繰り返し再生する。
- **ランダム(P.20)**
  チャプターを順不同に再生する。
- **プログラム(P.21-22)**
  タイトルやチャプターの順番を変えて再生する。
- **サーチモード(P.23)**
  タイトル、チャプター、または時間を指定して再生する。

3. **カーソルを右へ移動する**

指定した箇所を繰り返し再生しましょう(A-B リピート再生)

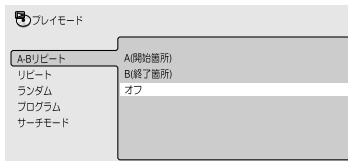
まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』(**P.19**)をご覧になり、[**A-Bリピート**]を選択してください。

1. **A-B リピートを開始したい箇所で[A(開始箇所)]を選択して、決定する**

2. **A-B リピートを終了したい箇所で[B(終了箇所)]を選択して、決定する**

- B(終了箇所)は、A(開始箇所)から2秒以上経過した箇所を指定してください。2秒以下の箇所を指定すると、自動的にAとBの間隔が2秒になります。
- A-B リピート再生を開始します。本体表示窓に[**R_A B**]と表示されます。

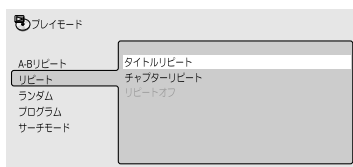
A-B リピート再生を解除するには･･･

1. **[オフ]を選択して、決定する**

A-B リピート再生中に**クリアボタン**を押しても解除することができます。

繰り返し再生しましょう (リピート再生)

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』(**P.19**)をご覧になり、**[リピート]**を選択してください。

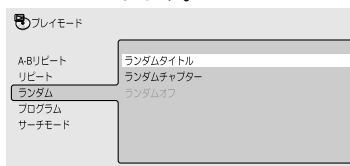
1. 再生中にリピート再生の種類を選択して、決定する

- リピート再生を開始します。
- 本体表示窓に**[R_TTL]**(タイトルリピート)、または**[R_CHP]**(チャプターリピート)と表示されます。

- **タイトルリピート**
  現在再生中のタイトルを繰り返し再生します。
- **チャプターリピート**
  現在再生中のチャプターを繰り返し再生します。
- **リピートオフ**
  通常の再生に戻ります(リピート再生中に**クリアボタン**を押しても通常の再生に戻すことができます)。

順不同に再生しましょう (ランダム再生)

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』(**P.19**)をご覧になり、**[ランダム]**を選択してください。

1. ランダム再生の種類を選択して、決定する

- ランダム再生を開始します。
- 本体表示窓に**[RDM]**と表示されます。

- **ランダムタイトル**
  タイトルを順不同に再生します。
- **ランダムチャプター**
  現在再生中のタイトル内のチャプターを順不同に再生します。
- **ランダムオフ**
  通常の再生に戻ります(ランダム再生中に**クリアボタン**を押しても通常の再生に戻すことができます)。

メ モ

▼ ランダム再生できないディスクがあります。
▼ ランダム再生をリピートすることはできません。

順番を変えて再生しましょう(プログラム再生)

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』(**P.19**)をご覧になり、**[プログラム]**を選択してください。24 ステップまでプログラムすることができます。

1. [プログラム入力・編集]を選択して、決定する

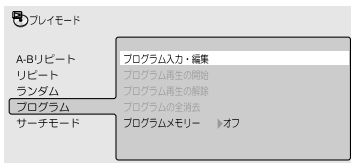
[プログラムメモリー]はDVDのときのみ選択することができます(**P.22**)。

2. プログラムしたいタイトル / チャプターを選択して、決定する

例)

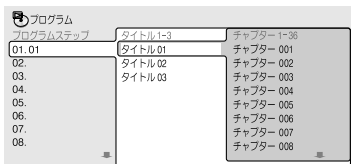
- プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。
- 一時停止をプログラムすることはできません。

3. 2を繰り返して他のタイトル / チャプターをプログラムする

例)

ステップの間にプログラムを追加するには・・・

例) プログラムステップ 02 の前にタイトル 1 のチャプター 7 を追加する

① **カーソルをプログラムステップ 02 に合わせる**

② **タイトル 1 のチャプター 7 を選択して、決定する**
プログラムステップ 02 にタイトル 1 のチャプター7が追加されます。もともとプログラムステップ 02 にあったタイトル / チャプターは新しいプログラムの後ろに移動します。

入力中にプログラムを削除するには・・・

例) プログラムステップ 02 のプログラムを削除する

① **カーソルをプログラムステップ 02 に合わせる**

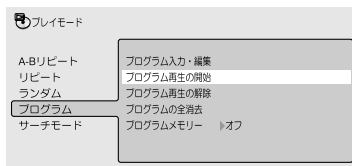
② **クリアボタンを押す**
プログラムステップ 02 のプログラムが削除され、その後ろにあったタイトル/チャプターが 1 つ前に繰り上がります。

4. ►ボタンを押す

- プログラムした順に再生を開始します。
- 本体表示窓に**[PGM]**と表示されます。

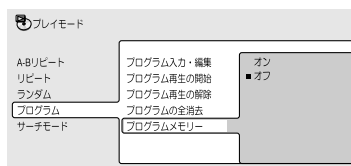
メ モ

- ▼ タイトル/チャプターが変わるときに、プログラムしていないタイトル / チャプターの映像が見えることがあります。これは故障ではありません。
- ▼ プログラム再生をリピートする(繰り返す)ことができます。プログラム再生中にプレイモード画面の[**リピート**]から[**プログラムリピート**]を選択します(**P.20**)。
- ▼ プログラム再生をランダム(順不同に)再生することはできません。プログラム再生を解除して、ランダム再生のみをします。
- ▼ プログラム再生中に▶▶|を押すと、次のプログラムステップのタイトル / チャプターを再生します。

プログラム再生を開始/解除/全消去するには･･･

- **プログラム再生の開始**
  すでにプログラムされている内容を始めから再生します。
- **プログラム再生の解除**
  通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります(プログラム再生中に**クリアボタン**を押して解除することもできます)。
- **プログラムの全消去**
  プログラムされている内容をすべて消去します(停止中に**クリアボタン**を押して消去することもできます)。

プログラムした内容を記憶するには･･･(プログラムメモリー)

ディスクを取り出しても記憶しています。プログラムメモリーしたディスクを再生すると、自動的にプログラムされている順に再生を開始します。最大24枚まで記憶させることができます。24枚を超えると、古い記憶から消去されます。

1. **[プログラムメモリー]を選択して、カーソルを 右へ移動する。**

2. **[オン]を選択して、決定する。**

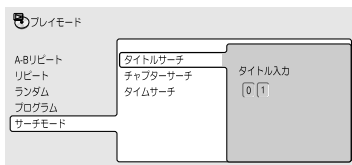
プログラムメモリーを解除するときは[**オフ**]を選択して、決定します。

メ モ

- ▼ プログラムメモリー機能を使うと、(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたエフディスクをお客様のお好み順に再生することができます。また、ディスク内の最大24個のタイトル/チャプターを指定した順に並び替えてプレーヤーのメモリーに記録することにより、次回ディスクを挿入すると自動的にその順番に再生することもできます。最大24枚のディスクについてお好み順を記録しておくことができ、各ディスクで指定した並び順がプレーヤー内に記録されます。

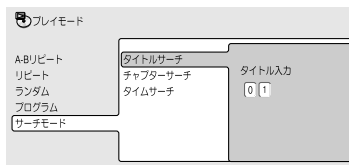
見たい場面を探しましょう(サーチモード)

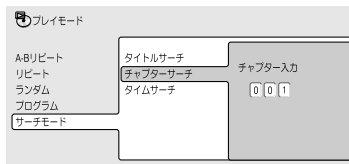
まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』(**P.19**)をご覧になり、**[サーチモード]**を選択してください。

1. サーチモードの種類を選択して、決定する

- **タイトルサーチ**
  タイトルを指定して再生する。
- **チャプターサーチ**
  チャプターを指定して再生する。
- **タイムサーチ**
  時間を指定して再生する。

2. 数字(0 ～ 9)ボタンで再生したいタイトル、チャプター、または時間を入力して、決定する

指定したタイトル、チャプター、または時間から再生を開始します。

タイトルサーチを選択したとき･･･

例)
タイトル 3 を再生するには、**3** を押して**決定ボタン**を押します。

チャプターサーチを選択したとき･･･

例)
チャプター 12 を選択するには、**1, 2** を押して**決定ボタン**を押します。

タイムサーチを選択したとき･･･

例)
- 21 分 43 秒を選ぶには、**2, 1, 4, 3** を押して**決定ボタン**を押します。
- 1 時間 04 分(64 分 00 秒)を選ぶには、**6, 4, 0, 0** を押して**決定ボタン**を押します。

ディスクナビゲーターを使って再生しましょう

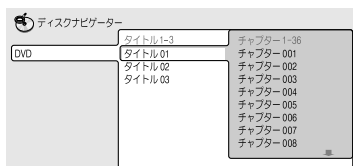
1. 設定

設定ボタンを押して、設定画面を表示させる

2.

[ディスクナビゲーター]を選択して、決定する

3.

カーソルをタイトル、またはチャプターに移動する

4.

再生したいタイトル、またはチャプターを選択して、決定する

選択したタイトル、またはチャプターから再生を開始します。

映像のアングルを切り換えましょう（マルチアングル）

1. アングル

アングルボタンを押す

現在のアングルと、収録されているアングルの総数が表示されます。押すたびにアングルが切り換わります。

例)

アングル　現在/総数 2/4

メモ

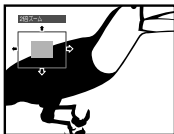
- ▼ 複数のアングルが収録されている場所にくると、マークが画面に表示されます。
- ▼ マークが表示されてもアングルを切り換えることができないディスクもあります。
- ▼ メニュー画面でアングルを切り換えることができるディスクもあります。
- ▼ マークを表示させたくないときは、初期設定の**[アングルマーク表示]**を**[オフ]**にします(**P.46**)。

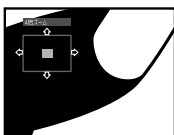
映像を拡大して見ましょう(ズーム)

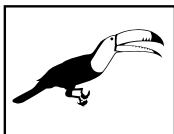
1. ズームボタンを押す

ズーム

ズームエリア(拡大する場所)が左上に表示されます。

1回押すと･･･

･･･2倍に拡大！

2回押すと･･･

･･･4倍に拡大！

3回押すと･･･

･･･通常の映像に戻る

2. ズームエリア表示中に ⇧ ⇩ ⇦ ⇨ でズームエリアを移動する

メモ

- ▼ 約5秒間ボタン操作がないと、左上のズームエリアが消えます。さらに倍率を変えたいときは、もう一度**ズームボタン**を押してズームエリア表示してください。
- ▼ ズーム中は字幕が表示されません。
- ▼ DVDのメニュー画面を表示中に映像をズームすると、項目を選択することができません。
- ▼ ビデオCD の再生中も映像を拡大して見ることができます。

ディスクの情報を見ましょう

1. 再生中に画面表示ボタンを押す

画面表示

画面右上の情報は、リピート、ランダム、またはプログラム再生中のみ表示されます。

1回押すと･･･

現在再生中のタイトルの情報が表示されます。

例)

再生	► DVD			チャプターリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
タイトル	1/3	0.12	138.47	138.59
音声	1. 英語 Dolby Digital 3/2.1CH	字幕 2. 日本語		アングル 1

2回押すと･･･

現在再生中のチャプターの情報と転送レートが表示されます。

例)

再生	► DVD			チャプターリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
チャプター	1/36	0.15	1.53	2.08
転送レート	■■■■■■■■■■■■■■■■		8.1Mbps	

3回押すと･･･

表示が消えます。

いろいろなディスクを再生しましょう

基本的な使いかた

メ モ

▼ **再生する前に確認してください。**
電源は入っていますか？(**P.6**)、ディスクは入っていますか？(**P.7**)

何をする？	これを押す！	知っておいて！
再生する	►	• MP3では、ディスク情報の読み込みに多少時間がかかることがあります。画面の**[読込中]**の表示が消えてから再生してください。 • ビデオCDでは、再生を開始するとメニュー画面を表示するディスクがあります。メニュー画面の操作については**P.32**をご覧ください。
停止する	■	• MP3 CD(-R/-RW)では、リジューム機能は働きません。 • ビデオCDでは、本体の表示窓に**[RESUME]**と表示され、停止したトラックの始めを記憶します。リジューム機能を解除するには、**■ ボタン**をもう一度押します。
一時停止する	❚❚	通常の再生に戻すには、一時停止中に►、または**❚❚ ボタン**を押します。
頭出しする	❙◄◄ ►►❙	押した回数だけトラックをスキップします。
早送りする	►►	• 早送り中は画面に**[スキャン 1 ►►]**と表示されます。 • ビデオCD CD(-R/-RW)は、早送りの速さを 2 段階切り換えることができます。 • ビデオCD MP3は、再生中のトラックのみを早送りします。次のトラックまで早送りすると通常の再生に戻ります。 • 早送り中に通常の再生に戻すには、**► ボタン**を押します。
早戻しする	◄◄	• 早戻し中は画面に**[スキャン 1 ◄◄]**と表示されます。 • ビデオCD CD(-R/-RW)は、早戻しの速さを 2 段階切り換えることができます。 • ビデオCD MP3は、再生中のトラックのみを早戻しします。再生中のトラックの先頭まで早戻しすると通常の再生に戻ります。 • 早戻し中に通常の再生に戻すには、**► ボタン**を押します。
トラックを指定して再生する	0 ～ 9 決定	聞きたいトラックの番号を**数字(0 ～ 9)ボタン**で選択して、**決定ボタン**を押してください。(トラック番号を選択してから 2 秒以上経過すると自動的に再生を開始します)。 **例)** トラック 12 を再生するには **1, 2** を押して、**決定ボタン**を押します。

Q&A

Q1: MP3 ファイルを記録したディスクが再生できない。

→ MP3 ファイルを記録したディスクがファイナライズされているか確認してください。

→ 画面に[**このフォーマットは再生できません**]と表示されていませんか。このときは、下記のような原因が考えられます。

- 記録したディスクがISO9660 フォーマットに準拠していない。
- MPEG1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数32kHz、44.1kHz、または48kHzの固定ビットレートで記録されていない(**P.50**)。

Q2: ビデオ CD が再生できない。

→ パソコンで記録されたビデオ CD は再生できないことがあります。

Q3: CD-R/RW が再生できない。

→ パソコンで記録されたCD-R/RWは再生できないことがあります。

Q4: CD-G が再生できない。

→ CD-G のグラフィック映像は再生できません。

Q5: CD-R/RW の頭出し(スキップ)ができない。

→ ファイナライズされていない CD-R/RW では頭出し(スキップ)ができません。

Q6: CD-R/RWのトラックを指定して再生できない。

→ ファイナライズされていない CD-R/RW ではトラックを指定して再生することができません。

プレイモード画面を表示させましょう

1. プレイモードボタンを押す

プレイモード

- プレイモード画面が表示されます。
- 設定画面からもプレイモードを選択することができます(**設定ボタン**を押して、設定画面を表示します)。
- ビデオCDのPBC再生中はプレイモード画面を表示することができません。PBC 再生を解除してください(**P.32**)。
- ファイナライズされていないCD(-R/-RW)では表示することができません。

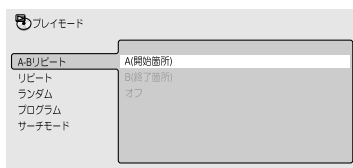
2. 項目を選択する

- **A-B リピート(P.28)**
  ビデオCD CD(-R/-RW)では、再生中のトラック内の指定した範囲を繰り返し再生します。
- **リピート(P.28)**
  ディスク、フォルダーまたはトラックを繰り返し再生します。
- **ランダム(P.29)**
  トラックを順不同に再生します(MP3では、現在再生中のフォルダー内のみ)。
- **プログラム(P.29)**
  フォルダーやトラックの順番を変えて再生する。
- **サーチモード(P.30)**
  フォルダーまたはトラックを指定して再生する。

3. カーソルを右へ移動する

指定した箇所を繰り返し再生しましょう (A-B リピート再生)

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』(**P.27**)をご覧になり、**[A-Bリピート]**を選択してください。

1. **再生中に A-B リピートを開始したい箇所で[A(開始箇所)]を選択して、決定する**

2. **A-B リピートを終了したい箇所で[B(終了箇所)]を選択して、決定する**

- B(終了箇所)は、A(開始箇所)から 2 秒以上経過した箇所を指定してください。2秒以下の箇所を指定すると、自動的にAとBの間隔が 2 秒になります。
- A-B リピート再生を開始します。
- 本体表示窓に**[R_A　B]**と表示されます。

A-B リピート再生を解除するには･･･

1. **[オフ]を選択して、決定する**

A-B リピート再生中に**クリアボタン**を押しても解除することができます。

Q&A

Q:　MP3 の A-B リピート再生ができない。

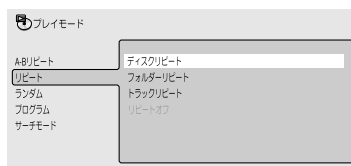
→　MP3はA-Bリピート再生ができません。

繰り返し再生をしましょう (リピート再生)

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』(**P.27**)をご覧になり、**[リピート]**を選択してください。

1. **再生中にリピート再生の種類を選択して、決定する**

リピート再生を開始します。

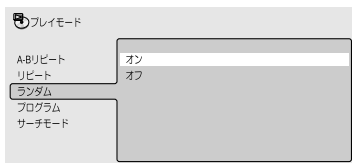
例) MP3 のリピート画面

- **ディスクリピート**
  - 現在再生中のディスクを繰り返し再生します。
  - 本体表示窓に**[R_DSC]**と表示されます。
- **フォルダーリピート(MP3 のみ)**
  - 現在再生中のフォルダーを繰り返し再生します。
  - 本体表示窓に**[R_FLD]**と表示されます。
- **トラックリピート**
  - 現在再生中のトラックを繰り返し再生します。
  - 本体表示窓に**[R_TRK]**と表示されます。
- **リピートオフ**

  通常の再生に戻ります(リピート再生中に**クリアボタン**を押しても通常の再生に戻すことができます)。

順不同に再生をしましょう (ランダム再生)

まずは『**プレイモード画面を表示させましょう**』(**P.27**)をご覧になり、**[ランダム]**を選択してください。

1. [オン]を選択して、決定する

ランダム再生を開始します。

- **オン**
  - MP3 では、現在再生中のフォルダー内のトラックを順不同に再生します。
  - ビデオCD CD(-R/-RW)では、トラックを順不同に再生します。
  - 本体表示窓に[**RDM**]と表示されます。
- **オフ**

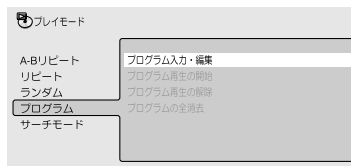
  通常の再生に戻ります(ランダム再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻ることもできます)。

メ モ

▼ ランダム再生できないディスクがあります。
▼ ランダム再生をリピートすることはできません。

順番を変えて再生しましょう (プログラム再生)

まずは『**プレイモード画面を表示させましょう**』(**P.27**)をご覧になり、**[プログラム]**を選択してください。24 ステップまでプログラムすることができます。

1. [プログラム入力・編集]を選択して、決定する

2. プログラムしたいフォルダー / トラックを選択して、決定する

- ディスクによってプログラム入力・編集画面が異なります。
- MP3 では、フォルダーとトラックを選択します。
- ビデオCD CD(-R/-RW)では、トラックのみを選択します。
- プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。
- 一時停止をプログラムすることはできません。

3. 2 を繰り返して他のフォルダー / トラックをプログラムする

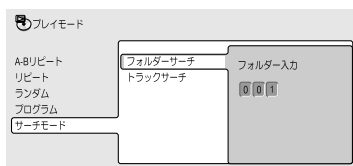
P.21の『***ステップの間にプログラムを追加するには･･･***』『***入力中にプログラムを削除するには･･･***』も合わせてご覧ください。

4. ► ボタンを押す

- プログラムした順に再生を開始します。
- 本体表示窓に[**PGM**]と表示されます。
- **P.21**の『***メ モ***』、および**P.22**の『***プログラム再生を開始 / 解除 / 全消去するには･･･***』も合わせてご覧ください。

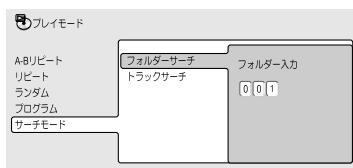
聴きたい曲を探しましょう(サーチモード)

まずは『***プレイモード画面を表示させましょう***』(**P.27**)をご覧になり、**[サーチモード]**を選択してください。

1. サーチモードの種類を選択して、決定する

- **フォルダーサーチ(MP3 のみ)**
  フォルダーを指定して再生する。
- **タイムサーチ(ビデオCDのみ)**
  現在再生中のトラック内の時間を指定して再生する。
- **トラックサーチ**
  トラックを指定して再生する。

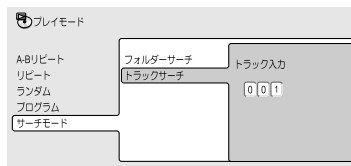
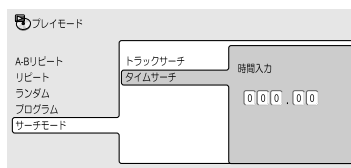
2. 数字(0 〜 9)ボタンで再生したいフォルダー / トラック、または時間を入力して、決定する

指定したフォルダー、トラック、または時間から再生を開始します。

フォルダーサーチを選択したとき･･･

例)
フォルダー 3 を再生するには、**3** を押して、**決定ボタン**を押します。

トラックサーチを選択したとき･･･

例) MP3 のトラックサーチ画面

例)
トラック 12 を再生するには、**1, 2** を押して、**決定ボタン**を押します。

タイムサーチを選択したとき･･･

例)
- 21 分 43 秒を再生するには、**2, 1, 4, 3** を押して、**決定ボタン**を押します。
- 1時間4分(64分00秒)を再生するには、**6, 4, 0, 0** を押して、**決定ボタン**を押します。

Q&A

Q: タイムサーチができない。

→ MP3、または CD(CD-R/RW)ではタイムサーチができません。

→ ビデオでは CD のトラックをまたいだタイムサーチはできません。

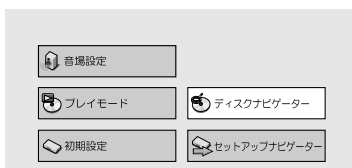
ディスクナビゲーターを使って再生しましょう

1. 設定

設定ボタンを押して、設定画面を表示させる

メニューボタンでディスクナビゲーター画面を表示させることもできます。このときは手順3に進んでください。

2.

[ディスクナビゲーター]を選択して、決定する

3.

再生したいフォルダー / トラックを選択して、決定する

例) MP3 のディスクナビゲーター画面

17番目以降のフォルダー/トラックでは、フォルダー名が「F_033」、トラック名が「T_035」のように表示されることがあります。

Q&A

Q: 設定画面が表示できない

→ ビデオCDのPBC再生中は設定画面を表示することができません。PBC再生を解除してください(**P.32**)。

ディスクの情報を見ましょう

1. 画面表示

再生中に画面表示ボタンを押す

画面右上の情報は、リピート、ランダム、またはプログラム再生中のみ表示されます。

1回押すと・・・

- MP3 CD(-R/-RW) では、現在再生中のトラックの情報が表示されます。
- ビデオCDでは、現在再生中のディスクの情報が表示されます。

例) MP3 のトラックの情報画面

再 生 ►	MP3			フォルダーリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
トラック	1/17	0:06	3:26	3:32
トラック名	Track1			

2回押すと・・・

- MP3では、現在再生中のフォルダーの情報が表示されます。
- ビデオCDでは、現在再生中のトラックの情報が表示されます。
- CD(-R/-RW)では、現在再生中のディスクの情報が表示されます。

例) MP3 のフォルダーの情報画面

再 生 ►	MP3	フォルダーリピート
	現在/総数	
フォルダー	1/17	
フォルダー名	Folder1	

3回押すと・・・
表示が消えます。

Q&A

Q: 時間情報などが表示されない。

→ ファイナライズしていないCD-R/RWディスクでは一部の時間情報が表示されないことがあります。

→ ビデオCDのPBC再生中は一部の情報が表示されません。PBC再生を解除してください(**P.32**)。

DVDを見る
各部のなまえ
DVDの再生
いろいろなディスクの再生
音場設定
接続
セットアップナビゲーター
初期設定
基礎知識
付録

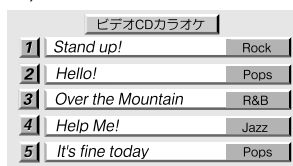
メニュー画面から再生しましょう(PBC 再生) — ビデオ CD のみ

ビデオCDでは、メニュー画面に従って再生することをPBC(プレイバックコントロール)再生といいます。ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドも合わせてご覧ください。

1. **PBC 再生対応ディスクを入れ、► ボタンを押す**

メニュー画面が表示され、PBC再生を開始します。

例)

ビデオCDカラオケ		
1	*Stand up!*	Rock
2	*Hello!*	Pops
3	*Over the Mountain*	R&B
4	*Help Me!*	Jazz
5	*It's fine today*	Pops

2. **数字(0 ～ 9)ボタンで再生したいトラックを選択して、決定する**

0 ～ 9

決定

再生を開始します。

メモ

戻る

再生中に**戻るボタン**を押すとメニュー画面に戻ります。

メニュー画面のページをめくる、または戻すには･･･

1. **メニュー画面を表示中に |◄◄、または ►►| ボタンを押す。**

メニュー画面を出さずに再生するには･･･ (PBC 再生を解除して再生する)

下記のいずれかの操作で、再生するトラックを選択します。

1. **停止中に |◄◄、または ►►| ボタンで選択する**

1. **停止中に数字(0 ～ 9)ボタンで選択して、決定する**

トラックを選択してから、2秒以上経過すると自動的に再生を開始します。

例)

トラック 12 を再生するには、**1, 2** と押して**決定ボタン**を押します。

スロー再生をしましょう — ビデオCDのみ

1. **再生中に II ボタンを押す**

一時停止になります。

2. II▶/I▶ **II▶/I▶ ボタンを押し続ける**

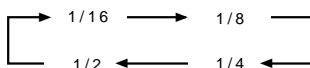
「スロー 1/16 I▶」と表示されます。指を離してもスロー再生を続けます。

通常の再生に戻すには・・・

1. **▶ ボタンを押す。**

スロー再生の速さを変えるには・・・

1. II▶/I▶ **スロー再生中に II▶/I▶ ボタンを押す。**

押すたびに下記のように速さが変わります。

Q&A

Q1: コマ送り / スロー再生中音声が出力されない。

→ コマ送り / スロー再生中は音声が出力されません。

Q2: 逆方向のコマ送り / スロー再生ができない。

→ ビデオCDでは、逆方向のコマ送り/スロー再生ができません。

コマ送り再生をしましょう — ビデオCDのみ

1. **再生中に II ボタンを押す**

一時停止になります。

2. II▶/I▶ **II▶/I▶ ボタンを押す**

押すたびにコマ送りします。

通常の再生に戻すには・・・

1. **▶ ボタンを押す。**

音声を切り換えましょう — ビデオCDのみ

1. 音声 **音声ボタンを押す**

押すたびに音声が切り換わります。

例)

音声	ステレオ

メモ

▼ カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。

映像を拡大して見ましょう(ズーム)

詳しくは **P.25** をご覧ください。

音場の設定をしましょう

音声の強弱の幅(ダイナミックレンジ)を調整しましょう(オーディオ DRC)

オーディオDRC(ダイナミックレンジコントロール)を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。例えば、映画の台詞などが聞きづらいときや深夜に映画を見るようなときに変更します。**オーディオ DRC はドルビーデジタル音声にのみ働きます。**

1. 設定ボタンを押して、設定画面を表示させる

2. [音場設定]を選択して、決定する

3. [オーディオ DRC]の[オン]、または[オフ]を ⇦⇨ で選択して、決定する

オフ

オーディオ DRC を解除します**(出荷時の設定)**。

オン

爆発音などの大音量を抑え、台詞などが聞きやすくなります。

メ モ

- ▼ ディスクによっては効果の少ないものがあります。
- ▼ オーディオ DRC はデジタル音声出力端子(光 / 同軸)から出力される音声にも効果があります。ただし、**[デジタル音声出力]**の**[デジタル出力]**を**[オン]**(**P.41**)に設定して、さらに**[DD Digital 出力]**を**[DD Digital > PCM]**(**P.42**)に設定してください。
- ▼ オーディオ DRC の効果は、お使いのスピーカーやテレビ、またはAV アンプの音量設定などによっても変わります。実際に設定を切り換えながら、一番効果的な設定を選択してください。

二つのスピーカーで臨場感のある立体音場を再現しましょう(バーチャルサラウンド)

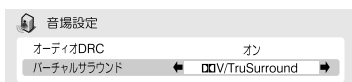
1. 設定

設定ボタンを押して、設定画面を表示させる

2.

[音場設定]を選択して、決定する

3.

[バーチャルサラウンド]の[DDV/TruSurround]、または[オフ]を ⇦⇨ で選択して、決定する

オフ
働きません**(出荷時の設定)**。
DDV/TruSurround
立体音場(サラウンド)になります。

リモコンでバーチャルサラウンドにするには･･･

1. サラウンド

サラウンドボタンを押して、[DDV/TruSurround]、または[オフ]を選択する

下記のようにテレビ画面に表示されます。

オフを選択しているとき

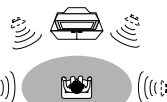
オフ

⬍

DDV/TruSurroundを選択しているとき

DDV/TruSurround

メ モ

▼ **TruSurround* とバーチャルドルビーデジタルについて**
バーチャルサラウンドをオンにすると、2本のスピーカーのみで臨場感のあるサラウンド効果を楽しむことができます。特にドルビーデジタル音声を再生しているときは、SRS社のTruSurround技術によるバーチャルドルビーデジタルが働き、より広がりのある立体音場(3Dサラウンド)が再現されます。

TruSurround by SRS

▼ バーチャルサラウンド機能は、デジタル音声出力にも効果があります。ただし、デジタル音声出力がドルビーデジタル、またはMPEG音声で出力されているときは効果がありません(デジタル音声出力の設定については**P.41-42**をご覧ください)。

▼ バーチャルサラウンド機能は、DTS、またはリニアPCM96kHz音声には効果がありません。また、MP3を再生しているときも効果がありません。

▼ ディスクによってはサラウンド効果の少ないものがあります。

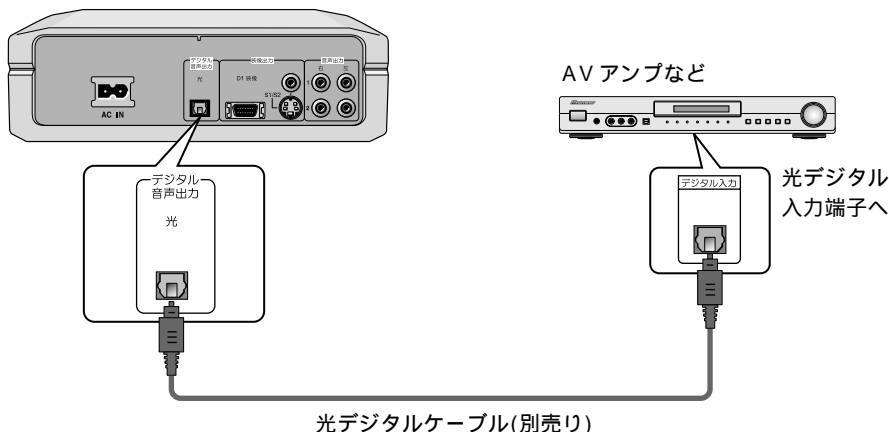
* *TruSurroundと(●)® 記号はSRS Labs,Inc.の商標です。TruSurround技術はSRS Labs,Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。*

こんな接続のしかたもあります

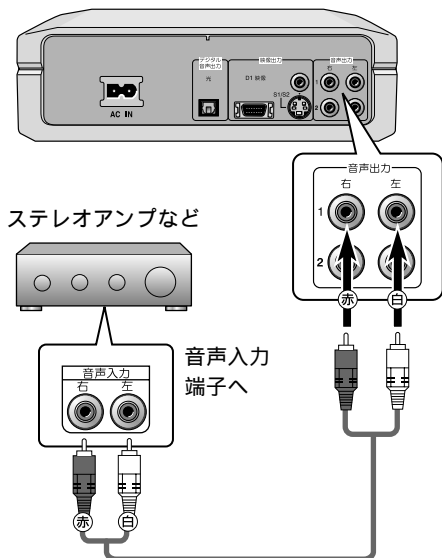
デジタル音声入力端子のある機器と接続できます

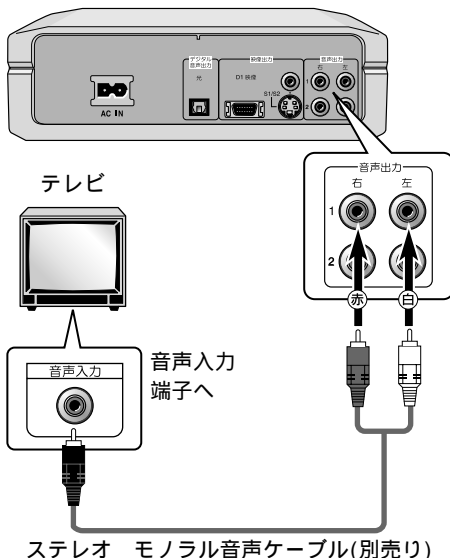
デジタル音声入力端子のあるAVアンプやデジタル録音対応機器(MD、CD-R(CDレコーダー)、DATなど)とデジタル接続することができます。

光デジタル音声入力端子のある機器と接続する

別売りの光デジタルケーブルで接続します。

2chアナログ音声入力端子やモノラル音声入力端子のある機器と接続できます

2chアナログ音声入力端子と接続する

別売りのステレオ⇔ステレオ音声ケーブルで接続します。

モノラル音声入力端子のあるテレビと接続する

別売りのステレオ⇔モノラル音声ケーブルで接続します。

DVDの5.1chサラウンドサウンドを楽しむための接続をしましょう

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

メ モ

▼ 5.1chサラウンドサウンドを楽しむために必要な機器は？

- ドルビーデジタル/DTSなどのデジタル入力に対応したAVアンプ、またはデコーダー
- 5chスピーカー(フロント左右/センター/サラウンド左右)＋サブウーファー
- 光デジタルケーブル

AC IN
デジタル音声出力 光
映像出力 D1映像 S1/S2
音声出力 右 左
黄 赤 白

付属のオーディオ・ビデオコードで本機の**音声/映像出力端子**とAVアンプの**音声/映像入力端子**を接続します。映像はS映像端子、またはD端子に接続することができます(**P.38**)。

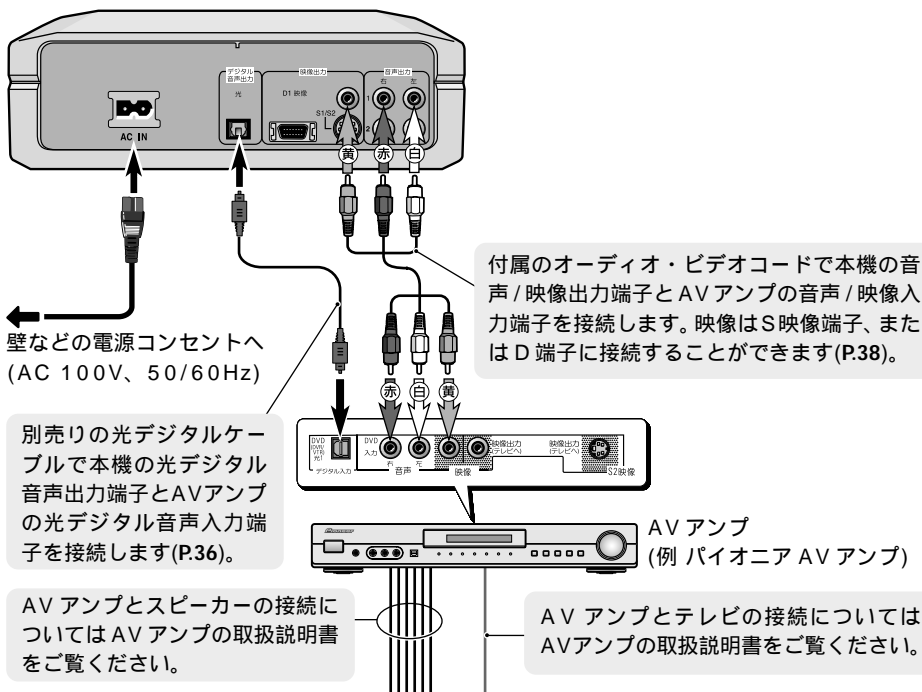
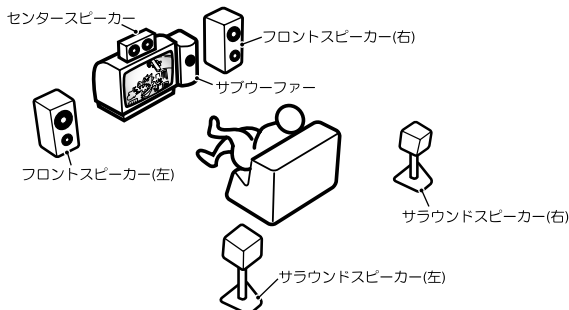
壁などの電源コンセントへ
(AC 100V、50/60Hz)

別売りの光デジタルケーブルで本機の**光デジタル音声出力端子**とAVアンプの**光デジタル音声入力端子**を接続します(**P.36**)。

赤 白 黄
DVD(DVR/VTR)光1 デジタル入力
DVD入力 右 音声 左
映像
映像出力(テレビへ) 映像出力(テレビへ) S2映像

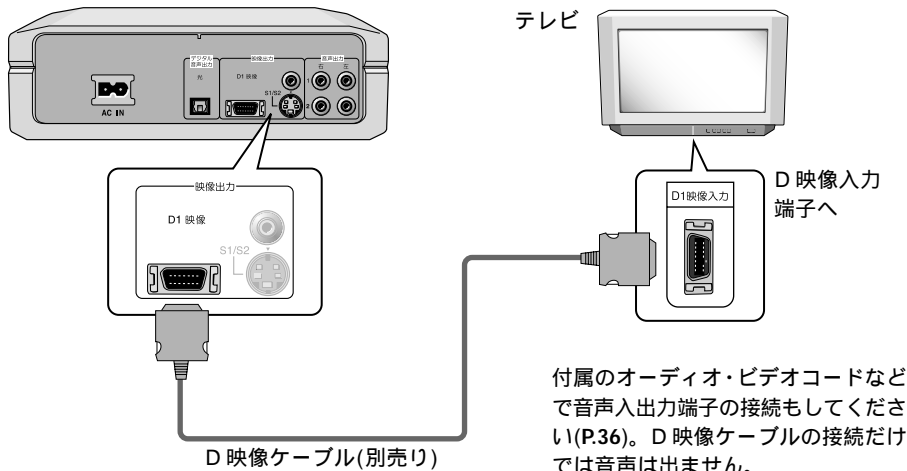
AVアンプ
(例 パイオニアAVアンプ)

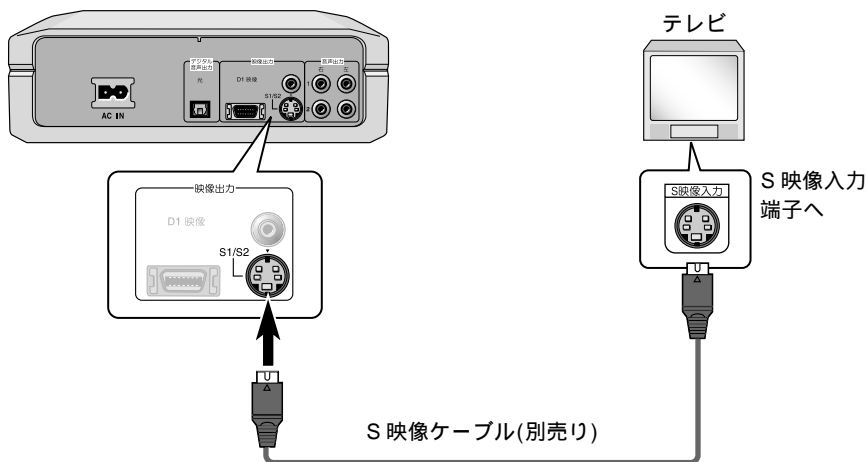
AVアンプとスピーカーの接続についてはAVアンプの取扱説明書をご覧ください。

AVアンプとテレビの接続についてはAVアンプの取扱説明書をご覧ください。

いろんな映像入力端子のあるテレビと接続できます

D 映像入力端子のあるテレビと接続する

別売りの D 映像ケーブルで接続します。付属のオーディオ・ビデオコード、または別売りの S 映像ケーブルを使った接続より、高品位な映像品質です。本機の D1 端子は、接続するテレビの D1、D2、D3、または D4 のいずれの入力端子にも接続することができます。

※ 付属のオーディオ・ビデオコードなどで音声入出力端子の接続もしてください(**P.36**)。D 映像ケーブルの接続だけでは音声は出ません。

S 映像入力端子のあるテレビと接続する

別売りの S 映像ケーブルで接続します。付属のオーディオ・ビデオコードを使った接続より、高品位な映像です。初期設定画面で[S1]、または[S2]を切り換えることができます(**P.43**)。

※ 付属のオーディオ・ビデオコードなどで音声入出力端子の接続もしてください(**P.36**)。S 映像ケーブルの接続だけでは音声は出ません。

セットアップナビゲーターで設定しましょう

ここでは本機とAVアンプを接続したときに必要な最低限の設定をします。本機では、セットアップナビゲーターで簡単に設定することができます。

メモ

よく使うボタン

設定画面を表示する。操作/設定の途中で画面をオフにする(**設定は保存されません**)。

項目を選択 / 変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。

項目を決定する。

戻る

一つ前の画面に戻る。

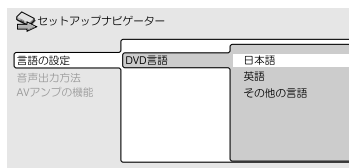
セットアップナビゲーターを開始する

1. **設定ボタンを押して設定画面を表示させる**

2. **[セットアップナビゲーター]を選択して、決定する**

ディスクを再生中にセットアップナビゲーターを選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

DVDに表示される言語を変更しますか？

1. **項目を選択して、決定する**

[その他の言語]を選んだときは･･･

136言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは**P.45**の『***字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだときは･･･***』をご覧ください。

AV アンプに接続していますか？

接続については **P.36** をご覧ください。

1. 項目を選択して、決定する

- **[接続していない]**を選択したときは**「*セットアップナビゲーターを終了しましょう*」**に進みます。

デジタル音声出力端子に接続していますか？

接続については **P.36** をご覧ください。

1. 項目を選択して、決定する

- **[接続していない]**を選択したときは**「*セットアップナビゲーターを終了しましょう*」**に進みます。

ドルビーデジタルに対応していますか？

AV アンプの取扱説明書をご覧ください。

1. 項目を選択して、決定する

DTS に対応していますか？

AV アンプの取扱説明書をご覧ください。

1. 項目を選択して、決定する

MPEG に対応していますか？

AV アンプの取扱説明書をご覧ください。

1. 項目を選択して、決定する

96kHz リニア PCM に対応していますか？

AV アンプの取扱説明書をご覧ください。

1. 項目を選択して、決定する

セットアップナビゲーターを終了しましょう

1. 決定する

デジタル音声出力の設定を変更したいとき

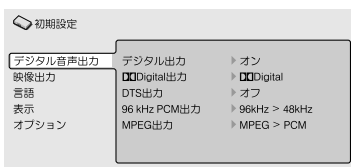
デジタル出力端子から音声を出力しますか？

1. 設定ボタンを押して、設定画面を表示させる

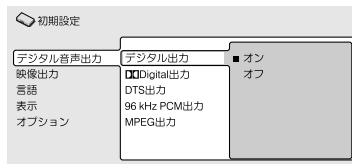
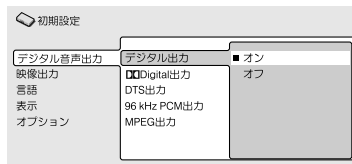
設定

2. [初期設定]を選択して、決定する

ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

3. [デジタル音声出力]を選択して、カーソルを右へ移動する

4. [デジタル出力]を選択して、カーソルを右へ移動する

5. [オン]、または[オフ]を選択して、決定する。

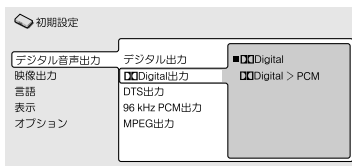
初期設定
デジタル音声出力
映像出力
言語
表示
オプション
デジタル出力
DDDigital出力
DTS出力
96 kHz PCM出力
MPEG出力
■ オン
オフ

オン

本体後面のデジタル出力端子から音声を出力します(**出荷時の設定**)。

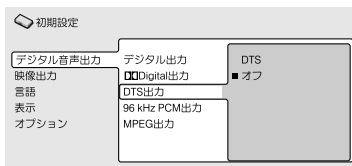
オフ

本体後面のデジタル出力端子から音声が出力されません。

デジタル音声出力の設定を変更したいとき

接続している AV アンプはドルビーデジタルに対応していますか？

DD Digital(出荷時の設定)
ドルビーデジタル対応アンプ、またはデコーダーと接続したときに選択します。

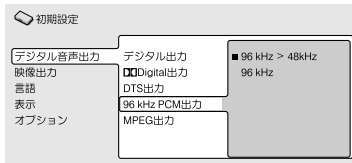
DD Digital > PCM
ドルビーデジタル信号をリニア PCM 信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していないアンプと接続したときに選択します。

接続している AV アンプは DTS に対応していますか？

DTS
DTS対応アンプ、またはデコーダーと接続したときに選択します。

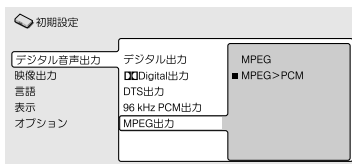
オフ(出荷時の設定)
DTSに対応していないアンプと接続したときに選択します。

注 意

◆ **DTS に対応していないアンプに接続しているときに[DTS]を選択するとノイズが発生することがあります。**

接続している AV アンプは 96kHz に対応していますか？

96kHz > 48kHz(出荷時の設定)
96kHz の信号を 48kHz に変換して出力します。96kHzに対応していないアンプと接続したときに選択します。

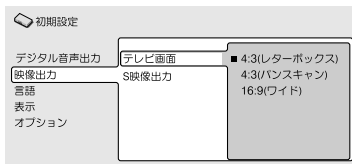
96kHz
96kHz 対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選択します。

接続している AV アンプは MPEG に対応していますか？

MPEG
MPEG対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選択します。

MPEG > PCM(出荷時の設定)
MPEG信号をリニアPCM信号に変換して出力します。MPEGに対応していないアンプと接続したときに選択します。

映像出力の設定を変更したいとき

初期設定画面の操作のしかたについては P.41 をご覧ください。

テレビのサイズはワイド(16:9)ですか？従来サイズ(4:3)ですか？

4:3(レターボックス)(出荷時の設定)
従来サイズのテレビと接続して、レターボックス方式(下記)で見たいときに選択します。
4:3(パンスキャン)
従来サイズのテレビと接続して、パンスキャン方式(下記)で見たいときに選択します。**この設定はディスクが対応していないとできません。**
16:9(ワイド)
ワイド(16:9)テレビと接続したとき選択します。

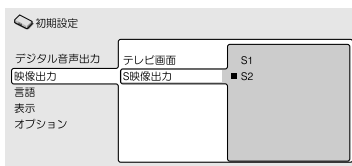
お使いのテレビに合わせた[テレビ画面]の設定は･･･

お使いのテレビに合わせて、下記のように本機の**[テレビ画面]**の設定をしてください。

お使いのテレビが従来サイズ(4:3)のとき		お使いのテレビがワイドテレビ(16:9)のとき	
本機の設定	映像の見えかた	本機の設定	映像の見えかた
4:3 (レターボックス)	16:9の映像 4:3の映像	16:9(ワイド)	16:9の映像
4:3 (パンスキャン)	16:9の映像 4:3の映像		4:3の映像

メ モ

▼ 画面の比率(アスペクト比)の切り換えができないディスクもあります。ディスクのジャケットなどで確認してください。

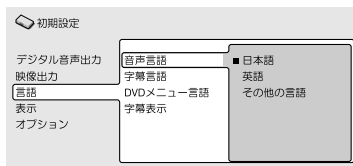
S 映像端子から出力される映像信号を切り換えますか？

S1
S1 映像信号が出力されます(**P.57**)。
S2(出荷時の設定)
S2 映像信号が出力されます(**P.57**)。

注 意

◆ 本機とテレビをS映像端子で接続しているとき、映像を横方向に引き伸ばしてしまうことがあります。このようなときは**[S1]**を選択してください。

言語の設定を変更したいとき

初期設定画面の操作のしかたについてはP.41をご覧ください。

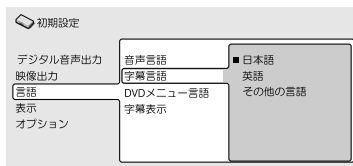
音声言語を変更しますか？

日本語(出荷時の設定)
音声言語が日本語になります。

英語
音声言語が英語になります。

その他の言語
136言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは次のページの『***字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだときは・・・***』をご覧ください。

メ モ

▼ ディスクによっては、ディスクで決められている音声の言語になることがあります。
▼ ディスクによっては、音声の言語をディスクメニューで選択するようになっています。このときは、リモコンの**メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから音声の言語を選択してください。

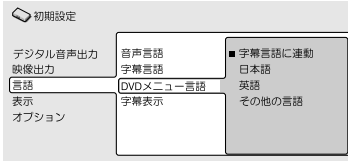
字幕言語を変更しますか？

日本語(出荷時の設定)
日本語の字幕を表示します。

英語
英語の字幕を表示します。

その他の言語
136言語の中から任意の字幕を選びます。詳しくは次のページの『***字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだときは・・・***』をご覧ください。

メ モ

▼ ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
▼ ディスクによっては、音声の言語をディスクメニューを使用して選択するようになっています。このときは、リモコンの**メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選択してください。

DVD のメニューに表示する言語を変更しますか？(DVD メニュー言語)

字幕言語に連動(出荷時の設定)
[字幕言語]で選択されている言語でメニュー画面が表示されます。

日本語
日本語でメニュー画面が表示されます。

英語
英語でメニュー画面が表示されます。

その他の言語
136言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは下記の『***字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだときは･･･***』をご覧ください。

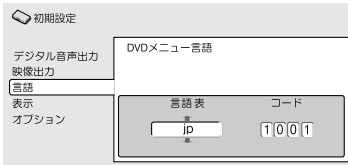
字幕言語 / 音声言語 / DVD メニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだときは･･･

P.62 の言語コード表を見ながら操作します。DVD に収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

1. [その他の言語]を選択して、決定する

例）DVD メニュー言語の場合

2. [言語表]、または[コード]を選択して、決定する

言語によってはコード番号しか表示されないものがあります。詳しくは言語コード表(**P.62**)をご覧ください。

■*[言語表]で言語を選ぶとき*

例）フランス語を選ぶ

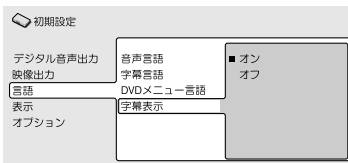
⇧を 2 回押します。

■*[コード]で言語を選ぶとき*

下記のいずれかの操作をします。

例）フランス語を選ぶ場合

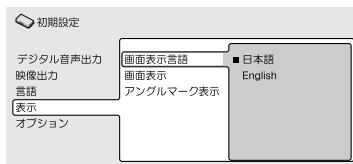
- **数字ボタンの 0、6、1、8 を押す。**
- **1ケタごとに⇧⇩で数字を選択する(⇦⇨でケタを移動します。)**

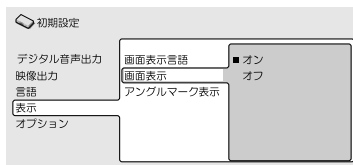
字幕を表示しないようにしますか？(字幕表示)

オン(出荷時の設定)
字幕を表示します。

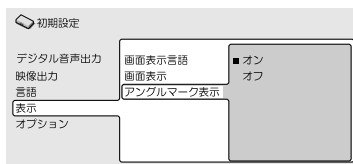
オフ
字幕を表示しません。ただし、DVDの中には強制的に字幕を表示するものがあります。

表示の設定を変更したいとき

初期設定画面の操作のしかたについてはP.41をご覧ください。

画面に表示される言語を英語にしますか？(画面表示言語)

日本語(出荷時の設定)
画面に表示される言語が日本語になります。
English
画面に表示される言語が英語になります。

画面に操作表示([再生]、[停止]など)をしないようにしますか？(画面表示)

オン(出荷時の設定)
画面に操作表示をします。
オフ
画面に操作表示をしません。

アングルマーク( )を表示しないようにしますか？(アングルマーク表示)

オン(出荷時の設定)
画面に マークを表示します。
オフ
画面に マークを表示しません。

オプションの設定

視聴制限をしますか？

暴力シーンなどを含む DVD の中には、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます)。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、本機のレベルを 6 に設定しておくと、レベル 7 のディスクを再生することはできません。レベル 7 のディスクを再生するにはあらかじめレベルを7以上に設定しておく必要があります。この視聴制限は国ごとに異なる規制レベルにしたがって働く機能です。カントリーコードをあらかじめ設定しておくと、この「国ごとに異なる規制」が可能になります。

暗証番号を登録するには･･･

1. **[オプション]➡[視聴制限]➡[暗証番号]を選択して、決定する**

2. **数字(0 ～ 9)ボタンで 4 桁の暗証番号を入力して、決定する**

0 ～ 9

メ モ

▼ 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。

▼ 暗証番号を忘れてしまったときは、出荷時の設定に戻して(**P.49**)、再度設定してください。

▼ ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

視聴制限できるDVDを再生するには･･･

視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。このとき、暗証番号を入力しないと再生することができません。

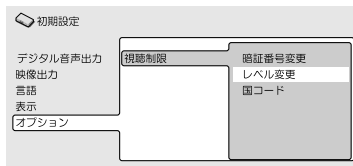
1. **数字(0 ～ 9)ボタンで 4 桁の暗証番号を入力して、決定する**

0 ～ 9

レベルを変更するには･･･

1. [レベル変更]を選択して、決定する

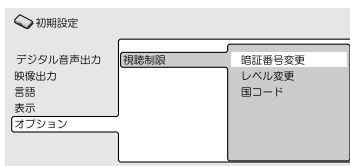
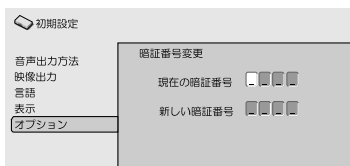
2. 数字(0 ～ 9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定する

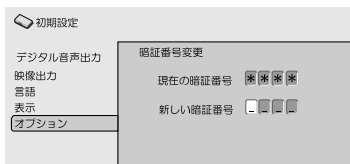
0 ～ 9

3. レベルを選択して、決定する

暗証番号を変更するには･･･

1. [暗証番号変更]を選択して、決定する

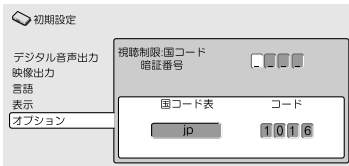
2. 数字(0 ～ 9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定する

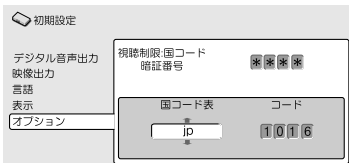
0 ～ 9

3. 数字(0 ～ 9)ボタンで新しい暗証番号を入力する

0 ～ 9

国コードを変更するには･･･

P.62 の国コード表を見ながら操作します。

1. **[国コード]を選択して、決定する**

2. **数字(0 ～ 9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定する**

3. **数字(0 ～ 9)ボタンで[コード]、または⇧⇩ で[国コード表]を入力して、決定する**

または

■[国コード表]で変更するとき

例）日本を選ぶ場合

⇧⇩ で[jp]を選択する。

■[コード]で変更するとき

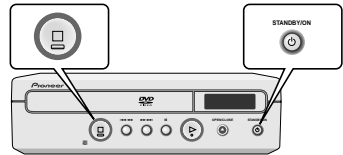
下記のいずれかの操作をします。

例）日本を選ぶ場合

- **数字(0 ～ 9)ボタンの 1、0、1、6 を押す。**
- **1ケタごとに⇧⇩で数字を選択する(⇦⇨でケタを移動します)。**

メモ

国コードを変更したときは、ディスクを一度取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。

設定した内容をすべて出荷時の状態に戻しますか？(初期化)

1. **本機を待機状態(スタンバイ状態)にする**

電源が入っているときは、本体の⏻**STANDBY/ON ボタン**(またはリモコンの⏻**電源ボタン**)を押します。

2. **■ボタンを押しながら、⏻STANDBY/ONボタンを押す**

設定した内容がすべて**出荷時の状態**に戻ります。

注 意

◆ 初期化すると､記憶していたすべての設定が同時に消去されます｡初期化する前は十分にご注意ください｡

メ モ

▼ 初期化すると、P.6 の画面が最初に表示されます。

読んでみてください！～基礎知識～

再生できるディスクについて

- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク		
DVD ビデオ		
ビデオ CD		
CD	CD-R*	CD-RW*
F-Disc(エフディスク)	(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたディスクです。	

本機で再生できないディスクの種類
DVD オーディオ、DVD-ROM、DVD-RAM、フォト CD、CD-G、リージョンが **「2」「ALL」** 以外の DVD ビデオなど

DVD-R/DVD-RW ディスクの再生について

- 本機ではDVDビデオフォーマットで記録されたDVD-R/DVD-RWディスクを再生することができます。
- **本機ではビデオレコーディングフォーマットで記録されたDVD-RWディスクは再生できません。**

*CD-R/CD-RW ディスクの再生について

本機は音楽CDフォーマット、ビデオCDフォーマット、または MP3 の音楽データが記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。
※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

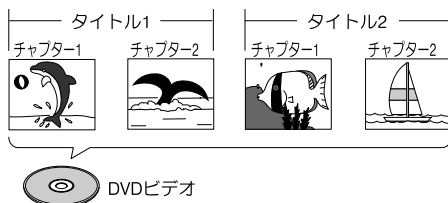
MP3 の再生について

- ISO9660CD-ROM ファイルシステムに従って記録したディスクを使用してください。
- MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数 32kHz、44.1kHz、または 48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは **[このフォーマットは再生できません]** と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)には対応していません(再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション(**P.56**)には対応していません。マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- フォルダー/トラックの名前を表示することが(半角英数字で入力された文字のみ)。半角英数字以外で入力されているフォルダー/トラックの名前は「F_001」/「T_001」のように表示されることがあります。また、17 番目以降のフォルダー / トラックでは、フォルダー名が「F_033」、トラック名が「T_035」のように表示されることがあります。
- フォルダー / 総トラック数はそれぞれ 250 まで対応しています。251 以降のフォルダー / トラックを再生することはできません。
- 音質的には、記録ビットレート128kbpsを推奨します。

注 意

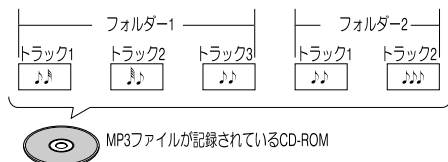
- ◆ レコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R/DVD-RWディスク、CD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります(原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など)。
- ◆ パソコンで記録したディスクは､アプリケーションの設定､および環境によって再生できないことがあります｡正しいフォーマットで記録してください(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- ◆ ファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクでは､一部の時間情報が表示されないことがあります。
- ◆ 詳しいCD-R/CD-RWディスクの取扱いについては､ディスクの使用上の注意をご覧ください。
- ◆ ファイナライズしていないDVD-R/DVD-RWディスクを再生することはできません。

タイトルとチャプターについて

DVDではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています(DVDビデオにはメニュー映像が記録されているソフトがありますが、このメニュー映像はどのタイトルにも属していません)。
DVDビデオの映画ソフトなどでは､ふつう1つの映画が1つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように1曲が1タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。

トラックについて

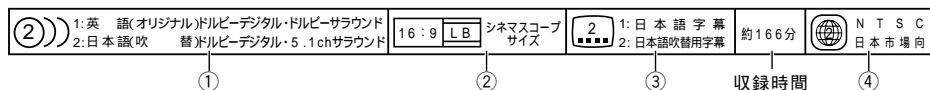
CDやビデオCDでは､ディスクをトラックという単位で分けています（一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。またさらに、トラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります)。

MP3について

MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。

DVD のディスクジャケットの表記について

DVDビデオのディスクレーベルやディスクジャケットにはいろいろなマークが表記されています。これらのマークの意味を知っておくと、そのディスクがどのように記録されているかを読みとることができます。また、そのマークによって、本機で再生中に利用できる機能も異なります。
ここでは、DVD ビデオのディスクジャケットに表記されているおもなマークをご紹介します。

DVD ビデオ(DVD-VIDEO)のディスクジャケットの例

②))) 1:英　語(オリジナル)ドルビーデジタル・ドルビーサラウンド 2:日本語(吹　替)ドルビーデジタル・5.1chサラウンド	16:9 LB シネマスコープサイズ	2 1:日本語字幕 2:日本語吹替用字幕	約166分	② NTSC 日本市場向
①	②	③	収録時間	④

① ディスクに記録されている**音声の数と種類・音声トラック方式**を示しています(音声の切り換えは **P.10, 44** をご覧ください)。
上記の場合、テレビにつないでいるときには、英語・日本語共に通常のステレオ音声として再生しますが、ドルビーデジタル対応のアンプをデジタル音声出力につないでいるときには、英語の場合はドルビーサラウンドで、日本語の場合は 5.1ch サラウンドで再生されます。

② 再生可能な**テレビ画面サイズや見えかた**を示しています。このディスクの場合、16：9 の画面サイズの映像の左右が圧縮されて記録されおり、テレビの種類に合わせて本機の設定を合わせておくと、シネマスコープサイズの映像を楽しむことができます(**P.43**)。

③ ディスクに記録されている字幕の数と言語などの種類を示しています(字幕の切り換えは **P.10, 44** をご覧ください)。
DVD ビデオでは最大 32 種類の字幕を記録することができます。

④ ディスクの**地域番号(リージョンナンバー)**です。
DVD プレーヤーと DVD ビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号(リージョンナンバー)が設定されています。再生するディスクに記載された地域番号がプレーヤーに設定された番号を含まない場合、そのディスクを再生することはできません。本機（日本向け）の再生可能地域番号は 2 番で、ディスクに記載された地域番号が 2 番を含むか「ALL」となっている場合に再生が可能です。

その他のマーク

舞台中継やスポーツ中継などでは、複数台のカメラで撮影している場合がほとんどです。DVDビデオでは、最大9つのカメラアングルで撮影された映像を同時に収録することができます。このマークが付いたDVDビデオでは、同一場面を複数のアングルから見て楽しむことができます(**P.24**)。

メ モ

▼ DVD ビデオの音声タイプは、「ドルビーデジタル」、「DTS」、「リニア PCM」の 3 つが現在主流となっています。

ドルビー デジタルとは..* DOLBY DIGITAL

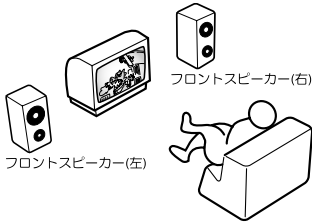
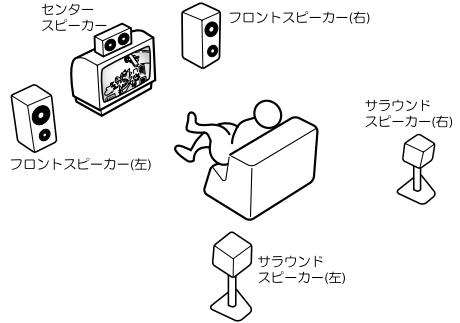
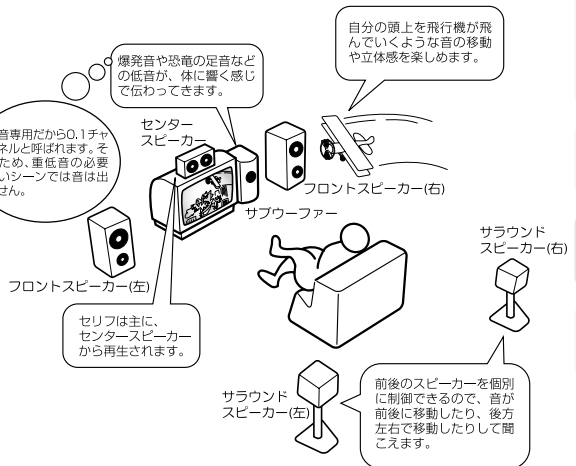
DVDの標準音声タイプのことです。モノラルやステレオで記録されているソフトもあれば、現在最も主流となっている5.1ch サラウンドで記録されているソフトもあります。ドルビーデジタル（5.1ch サラウンド）で記録されているソフトとは、5つのチャンネルの個別にそれぞれのシーンに合った音声が記録されていて、サブウーファーから出力される低音も記録されているソフトのことを言います。本機をドルビーデジタル対応の AV アンプなどと接続してこのソフトを再生すると、臨場感あふれるマルチチャンネル再生をお楽しみ頂くことができます。

*DTS** とは..*

DTS とはデジタルシアターシステム（Digital Theater System）の略で、5.1ch のデジタル・サラウンド録音再生方式です。これは最新のサラウンド方式で、DVD ビデオのオプション音声タイプとして認められています。本機を DTS 対応の AV アンプなどと接続すると、DTS デジタル・サラウンドで記録されたDVDソフトも、ドルビーデジタル(5.1ch サラウンド)で記録されているソフトと同様に 5.1ch で音声を楽しむことができます。

リニア PCM

音声の圧縮を行わない方式です。ミュージカルや音楽コンサートなどを収録した DVD ビデオの場合によく使われます。48kHz/16bit、96kHz などの表示があることもあります。

- **ステレオ再生とは..**
  左右 2 つのスピーカーから別々の音声を再生することです。DVD ビデオのステレオ音声や通常の音楽用 CD(ステレオ 2ch で録音されています)は、5 本のスピーカーとサブウーファーが接続されていても、音はフロントスピーカーからしか再生されません。

- **ドルビーサラウンド再生とは..**
  ソフトのパッケージにドルビーサラウンド(DOLBY SURROUND)と表記されているソフトを、5本のスピーカーで再生することです。ただし、サラウンドスピーカーは左右同じ音(モノラル)で再生されます。

- **ドルビーデジタル 5.1ch または DTS サラウンド再生とは..**
  ドルビーデジタル(5.1chサラウンド)またはDTSサラウンドで記録されているソフトを、5 本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ別々の音で再生することです。5.1ch独立で音声が記録されているため、立体感のある音場で臨場感あふれる音声が楽しめます。

* *ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。*

** *DTS は米国 Digital Theater Systems, Inc. の登録商標です。*

使用上の注意

本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらに**⏻STANDBY/ON(またはリモコンの⏻電源ボタン)**を押し、表示窓の**[-OFF-]**表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムのそばの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所(台所など)

上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

結露について

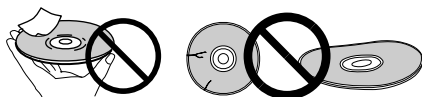
冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて１～２時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え､再生できるようになります。夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

ディスクの取り扱いかた

保管

- かならずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書はかならずお読みください。

ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付いた場合、録画や再生ができなくなることがあります。その場合は、クリーニングクロスで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤なども使用できません。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。
- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、録画・再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみだしている恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。
- ディスクの清掃には別売りのディスククリーニングセット(JV-D11)の使用をおすすめします。

特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、『***保証とアフターサービス***』(**P.63**)をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

ディスクの結露について

冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります(結露)。ディスクが結露していると録画や再生が正常にできない場合がありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

製品のお手入れについて

- 本体は通常、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で５～６倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭きとった後乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは 4：3 ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16:9の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

映像出力(コンポジット)
輝度信号(Y)と色信号(C)を混合して1本のコードで伝送できるようにした信号です。ただし、入力機器側で混合された輝度信号(Y)と色信号(C)を分離しなければなりません。この輝度信号(Y)と色信号(C)を分離するときの精度で画質の良さが決まります。

視聴制限
暴力シーンなどを含む DVD の中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル (dB) 単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮する（オーディオDRC）と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

光デジタル出力
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です（アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります）。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオ CD(バージョン 2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオ CD に記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高 / 標準解像度の静止画も楽しむことができます。

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の1つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っています。すべてのカメラの映像が同時に送られて視聴者側で視点(カメラ)を選べれば、見たい視点で映像が見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。DVDではアングルを最大9つまで記録することができます。

マルチ音声言語
DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDでは音声を最大 8 言語(8 ストリーム)まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大 32 カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチセッション
CD-R や CD-RW にデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1 枚のディスクに 2 つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン No.

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに地域番号(リージョン No.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は「2」です(本体後面部に表記されています)。

D 端子

デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号(Y/CB/CR)と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を 1 つのコネクタで接続する端子です。

DVD ビデオフォーマット記録

、または マークの付いている市販のDVDビデオディスクと同じ方式(フォーマット)で DVD-R/DVD-RW ディスクに一筆書きのように記録することをいいます。
パイオニアの DVD レコーダーではこれをビデオモード記録といいます。ビデオモードには、高画質で録画するモードと長時間で録画するモードがあります。

F-Disc（エフディスク）

8mm フィルムで撮った映像を DVD ディスクに記録したものです。

お問い合わせ先：
(株) フジカラーサービス
コンシューマーフォト部
電話：03-5571-5333

GUI

Graphical User Interface の略です。画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

MP3

MP3 とは、MPEG1 オーディオレイヤー 3 というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルをMP3 ファイルと呼びます。拡張子とは、OS やアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号です。ピリオドと3 文字のアルファベットで構成されています。

MPEG

Moving Picture Experts Group の略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。
DVD の映像やビデオ CD の映像 / 音声は、この方式で記録されています。DVD の中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

S1 映像出力

S1 とは映像のアスペクト比(4:3、16:9)との識別信号の入った S 映像信号です。

S2 映像出力

S1 に加え画像信号形態(レターボックス、パンスキャン)の識別信号の入った S 映像信号です。S2 対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

3/2.1CH

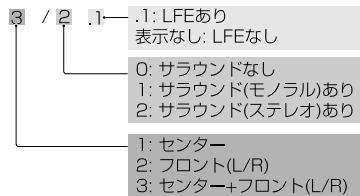
3/2.1はディスクに記録されているチャンネル数を表わしています。

例）5.1CH の場合

- フロントチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- センターチャンネル[(1CH)]
- サラウンドチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- LFE[*1] チャンネル[1CH × 0.1[*2] = 0.1CH]

***1**: 重低音強調効果の意
***2**: 音声全体に対して低音が占める割合

GUI 画面には下記のように表示されます。

付録

Q&A

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビ、AVアンプまたはスピーカーなども合わせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

症状	原因 / 対策	参照ページ
設定した内容が消えてしまった。	本機の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、必ず本体の⏻**STANDBY/ONボタン**、またはリモコンの⏻**電源ボタン**を押して、表示窓の**[-OFF-]**表示が消えてから抜いてください。特に他機器のACアウトレットに電源コードを接続しているときはご注意ください。接続している機器の電源と連動して本機の電源が切れます。電源コードは、なるべく壁などのコンセントに接続することをおすすめします。	
画面が止まり、本体やリモコンのボタン操作を受け付けなくなってしまった。	■**ボタン**を押してから、もう一度再生してください。	
DTS音声が出力されない。	• DTS音声対応アンプ、またはデコーダーをお持ちでないときはDTS音声を再生することはできません。ディスクのメニュー画面、またはリモコンの**音声ボタン**でDTS以外の音声を選んでください。	8, 10
	• 本機とDTS音声に対応していないアンプ、またはデコーダーをデジタル音声ケーブルで接続しているときは**[DTS出力]**の設定を**[オフ]**にしてください。ノイズが発生することがあります。	40, 42
	• DTS音声対応アンプ、またはデコーダーと接続しているときは、アンプの設定、およびデジタル音声ケーブルが正しく接続しているか確認してください。	36, 40-42
画面に**[DTS DIGITAL OUT OFF]**と表示された。	DTS音声対応アンプ、またはデコーダーと接続しているときは、**[デジタル出力]**、および**[DTS出力]**の設定を**[オン]**にしてください。DTS音声対応アンプ、またはデコーダーをお持ちでないときはDTS音声を再生することはできません。ディスクのメニュー画面、またはリモコンの**音声ボタン**でDTS以外の音声を選んでください。	8, 10, 41-42
音が歪んでしまう。	• 本機の音声出力端子、または接続したテレビやAVアンプなどの音声入力端子に音声ケーブルが正しく差し込まれていますか？または、外れていませんか？ • オーディオ・ビデオコード(赤 / 白)のプラグや本機の音声出力端子、または接続したテレビやAVアンプなどの音声入力端子が汚れていたら拭いてください。	5, 36-37

スピーカーから音が出ない。	• デジタル接続しているときは[**デジタル出力**]の設定を[**オン**]にしてください。 • [**デジタル音声出力**]の設定により、音が出ないことがあります。 • ディスクが汚れていませんか？ • [**96kHz PCM出力**]の設定が[**96kHz**]になっていませんか？リニア PCM 音声の 96kHz デジタル出力を禁止しているディスクがあります。 • 一時停止、コマ送り、またはスローなどの再生をしていませんか？ • 接続したテレビやAVアンプなどの音量が最小になっていませんか？	**41** **41-42** **55** **42** **18, 33**
画面が縦または横に伸びている。	• 接続したテレビに合わせて[**テレビ画面**]の設定をしてください。 • 本機とテレビをS映像端子で接続しているとき、テレビ側の信号処理により映像が横方向に伸びてしまうことがあります。このときは[**S映像出力**]の設定を[**S1**]にしてください。	**43** **43**
DVD と CD で音量差を感じる。	ディスクの記録方式の違いにより音量に差があります。	
DVD 再生中に画像が乱れる、または暗い。	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクを再生したとき、画像の一部に横縞が入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません。	
DVD映像をVTRに録画したり、VTRを通して再生すると再生画面が乱れる。	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクを VTR を通して、または VTR に録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。	
本機をビデオ内蔵テレビに接続してDVDを再生すると映像が乱れる。	ビデオ内蔵テレビの機種によっては、コピーガードの働きにより正常に再生されないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。	
テレビなどが誤動作する。	ワイヤレスリモコン機能を持つテレビが、本機のリモコン信号により誤動作することがあります。本機と離して設置してご使用ください。	
勝手に電源が切れる。	ディスクを再生していない(ディスクテーブルが閉まっている状態)で 30 分以上、本体またはリモコンの操作をしないと、電源が自動的にスタンバイ状態になります(オートパワーオフ機能)。再度電源を入れてください。	

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスステーションにご相談ください。

索引

あ行

アスペクト比・・・**43, 56**
アナログコピープロテクト・・・**5, 59**
アングル切換・・・**24**
暗証番号・・・ **47-49**
一時停止・・・ **9, 26**
映像出力 ・・・ **38, 43, 56**
エフディスク・・・ **22, 57**
オーディオ DRC・・・ **34**
オートパワーオフ ・・・**11**
音声言語・・・**10, 44**

か行

画面表示言語・・・**46**
96kHz PCM・・・**40, 42**
国コード・・・**49, 62**
言語コード・・・**45, 62**
コマ送り・・・ **18, 33**

さ行

再生 ・・・**8, 26**
サーチ・・・ **17, 23, 30**
視聴制限・・・**47-49, 56**
字幕言語・・・**10, 44**
初期設定・・・**41-49**
スキャン・・・**9, 26**
スロー再生・・・**18, 33**
接続・・・**5, 36-38**
セットアップナビゲーター・・・**39-40**

た行

タイトル・・・**51**
ダイナミックレンジ・・・**34, 56**
タイムサーチ・・・**23, 30**
チャプター・・・**51**
ディスクの情報・・・**25, 31**
デコーダー・・・**37, 42**
トラックサーチ・・・**30**
ドルビーデジタル・・・**40, 42, 52**

は行

バーチャルサラウンド・・・**35**
早送り・・・**9, 26**
早戻し・・・**9, 26**
パンスキャン・・・**43**
光デジタル出力・・・**36-37, 56**
ビデオ CD・・・**26-33**
表示窓 ・・・**15**
フォルダー・・・**51**
プレイバックコントロール・・・**32, 56**
プレイモード・・・**19, 27**
プログラム再生・・・**21-22, 29**
プログラムステップ・・・**21, 29**
プログラムメモリー・・・**22**

ま行

マルチアングル・・・**24, 56**
マルチ音声言語・・・**56**
マルチ字幕言語・・・**56**
マルチセッション・・・**56**

ら行

ランダム再生・・・**20, 29**
リージョン No.・・・**52, 57**
リジューム・・・**11**
リニア PCM・・・**40, 53**
リピート再生・・・**20, 28**
レターボックス・・・**43**

わ行

ワイド・・・**43**

アルファベット

AV アンプ･･･**36-37, 40-42**
D 端子･･･**38, 57**
DTS･･･**40, 42, 53**
DVD-RW･･･**50**
F-Disc･･･**57**
GUI･･･**57**
ISO9660 フォーマット･･･**50**
MP3･･･**26-31, 50-51**
MPEG･･･**40, 42, 57**
MPEG1 オーディオレイヤー 3･･･**50**
PBC･･･**32, 56**
PCM･･･**40, 53**
S2/S1(S)映像出力･･･**43, 57**

数字

3/2.1CH･･･**10, 57**
4:3･･･**43**
16:9･･**43**

初期設定一覧

音場設定

初期設定

初期設定
デジタル音声出力
映像出力
言 語
表 示
オプション
テレビ画面
■4:3(レターボックス)
4:3(パンスキャン)
16:9(ワイド)
S映像出力
S1
■S2
P.43
P.43

初期設定
デジタル音声出力
映像出力
言 語
表 示
オプション
画面表示言語
■日本語
English
画面表示
■オン
オフ
アングルマーク表示
■オン
オフ
P.46
P.46
P.46

初期設定
デジタル音声出力
映像出力
言 語
表 示
オプション
視聴制限
暗証番号
レベル変更
国コード
P.47

本機では、画面表示にNECのフォント「Font Avenue」を使用しています。
Font AvenueはNECの登録商標です。

言語コード表

言語名(言語コード), **入力コード**

Japanese (ja), **1001**
English (en), **0514**
French (fr), **0618**
German (de), **0405**
Italian (it), **0920**
Spanish (es), **0519**
Chinese (zh), **2608**
Dutch (nl), **1412**
Portuguese (pt), **1620**
Swedish (sv), **1922**
Russian (ru), **1821**
Korean (ko), **1115**
Greek (el), **0512**
Afar (aa), **0101**
Abkhazian (ab), **0102**
Afrikaans (af), **0106**
Amharic (am), **0113**
Arabic (ar), **0118**
Assamese (as), **0119**
Aymara (ay), **0125**
Azerbaijani (az), **0126**
Bashkir (ba), **0201**
Byelorussian (be), **0205**
Bulgarian (bg), **0207**
Bihari (bh), **0208**
Bislama (bi), **0209**
Bengali (bn), **0214**
Tibetan (bo), **0215**
Breton (br), **0218**
Catalan (ca), **0301**
Corsican (co), **0315**
Czech (cs), **0319**
Welsh (cy), **0325**
Danish (da), **0401**
Bhutani (dz), **0426**
Esperanto (eo), **0515**
Estonian (et), **0520**
Basque (eu), **0521**
Persian (fa), **0601**
Finnish (fi), **0609**
Fiji (fj), **0610**
Faroese (fo), **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga), **0701**
Scots-Gaelic (gd), **0704**
Galician (gl), **0712**
Guarani (gn), **0714**
Gujarati (gu), **0721**
Hausa (ha), **0801**
Hindi (hi), **0809**
Croatian (hr), **0818**
Hungarian (hu), **0821**
Armenian (hy), **0825**
Interlingua (ia), **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik), **0911**
Indonesian (in), **0914**
Icelandic (is), **0919**
Hebrew (iw), **0923**
Yiddish (ji), **1009**
Javanese (jw), **1023**
Georgian (ka), **1101**
Kazakh (kk), **1111**
Greenlandic (kl), **1112**
Cambodian (km), **1113**
Kannada (kn), **1114**
Kashmiri (ks), **1119**
Kurdish (ku), **1121**
Kirghiz (ky), **1125**
Latin (la), **1201**
Lingala (ln), **1214**
Laothian (lo), **1215**
Lithuanian (lt), **1220**
Latvian (lv), **1222**
Malagasy (mg), **1307**
Maori (mi), **1309**
Macedonian (mk), **1311**
Malayalam (ml), **1312**
Mongolian (mn), **1314**
Moldavian (mo), **1315**
Marathi (mr), **1318**
Malay (ms), **1319**
Maltese (mt), **1320**
Burmese (my), **1325**
Nauru (na), **1401**
Nepali (ne), **1405**
Norwegian (no), **1415**
Occitan (oc), **1503**
Oromo (om), **1513**
Oriya (or), **1518**
Panjabi (pa), **1601**
Polish (pl), **1612**
Pashto, Pushto (ps), **1619**
Quechua (qu), **1721**
Rhaeto-Romance (rm), **1813**
Kirundi (rn), **1814**
Romanian (ro), **1815**
Kinyarwanda (rw), **1823**
Sanskrit (sa), **1901**
Sindhi (sd), **1904**
Sangho (sg), **1907**
Serbo-Croatian (sh), **1908**
Sinhalese (si), **1909**
Slovak (sk), **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn), **1914**
Somali (so), **1915**
Albanian (sq), **1917**
Serbian (sr), **1918**
Siswati (ss), **1919**
Sesotho (st), **1920**
Sundanese (su), **1921**
Swahili (sw), **1923**
Tamil (ta), **2001**
Telugu (te), **2005**
Tajik (tg), **2007**
Thai (th), **2008**
Tigrinya (ti), **2009**
Turkmen (tk), **2011**
Tagalog (tl), **2012**
Setswana (tn), **2014**
Tonga (to), **2015**
Turkish (tr), **2018**
Tsonga (ts), **2019**
Tatar (tt), **2020**
Twi (tw), **2023**
Ukrainian (uk), **2111**
Urdu (ur), **2118**
Uzbek (uz), **2126**
Vietnamese (vi), **2209**
Volapük (vo), **2215**
Wolof (wo), **2315**
Xhosa (xh), **2408**
Yoruba (yo), **2515**
Zulu (zu), **2621**

国コード表

国名 , **入力コード , 国コード**

アメリカ, **2119, us**
アルゼンチン, **0118, ar**
イギリス, **0702, gb**
イタリア, **0920, it**
インド, **0914, in**
インドネシア, **0904, id**
オーストラリア, **0121, au**
オーストリア, **0120, at**
オランダ, **1412, nl**
カナダ, **0301, ca**
韓国, **1118, kr**
シンガポール, **1907, sg**
スイス, **0308, ch**
スウェーデン, **1905, se**
スペイン, **0519, es**
タイ, **2008, th**
台湾, **2023, tw**
中国, **0314, cn**
チリ, **0312, cl**
デンマーク, **0411, dk**
ドイツ, **0405, de**
日本, **1016, jp**
ニュージーランド, **1426, nz**
ノルウェー, **1415, no**
パキスタン, **1611, pk**
フィリピン, **1608, ph**
フィンランド, **0609, fi**
ブラジル, **0218, br**
フランス, **0618, fr**
ベルギー, **0205, be**
ポルトガル, **1620, pt**
香港, **0811, hk**
マレーシア, **1325, my**
メキシコ, **1324, mx**
ロシア, **1821, ru**

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。所在地、電話番号は付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

P.58-59に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所「付近の目印も合わせてお知らせください」
- お名前
- お電話番号
- 製品名　DVD プレーヤー
- 型番　DV-U7
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容「できるだけ具体的に」「ディスクのタイトル」
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標(建物・公園など)

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

仕様

形式 .... DVD プレーヤー
電源 .... AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 .... 10 W
0.19W（待機時）
本体質量 .... 1.8 kg
外形寸法
...... 210(幅)× 311(奥行)× 65(高さ)mm
許容動作温度 .... ＋ 5℃〜＋ 35℃
許容動作湿度 ..... 5%〜 85%(結露のないこと)
S1/S2 映像出力
Y 出力レベル .... 1 Vp-p(75 Ω)
C 出力レベル .... 286 mVp-p(75 Ω)
出力端子 .... S 端子
映像出力
出力レベル .... 1 Vp-p(75 Ω)
出力端子 .... RCA 端子
D1 映像出力（Y/CB/CR）
Y 出力レベル .... 1 Vp-p(75 Ω)
CB/CR 出力レベル .... 0.7 Vp-p(75 Ω)
出力端子 .... D 端子
音声出力
音声出力レベル .... 200 mVrms
(1kHz、− 20dB)
チャンネル数 2
出力端子 .... RCA 端子ステレオ 2 系統
周波数特性　4 Hz 〜 44 kHz(DVD、96 kHz)
S/N 比 .... 118 dB
ダイナミックレンジ .... 105 dB
全高調波歪率 .... 0.0016 %
ワウ・フラッター .... 測定限界以下
(± 0.001%W.PEAK)(EIAJ)
デジタル音声出力
光デジタル出力 .... 光デジタル端子
付属品
オーディオ・ビデオコード .... 1 式
電源コード 1
リモコン 1
単 3 形乾電池（R6P） 2
取扱説明書、保証書 .... 各 1
DVD プレーヤー簡単ガイド 1
安全上のご注意 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 1

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

● パイオニア・カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）
受付　月曜～金曜　９：３０～１７：００、土曜　９：３０～１２：００、１３：００～１７：００
（日曜・祝日・弊社休日は除く）

家庭用オーディオ／ビジュアル製品のご相談窓口　：　**0070-800-8181-22**
カタログのご請求窓口　：　**0077-800-8181-33**
ファックス　：　**03-3490-5718**

＜ご注意＞
フリーフォンは、ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

パイオニアホームページでのご案内
お問い合わせ先のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/*
カタログ請求とメールサービス登録のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html*

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入や、補修用性能部品（修理使用部品）に関するご相談については パイオニア部品受注センターにご相談ください。部品の交換方法などの技術相談につきましては下記のパイオニア修理受付センターにご相談ください。

● パイオニア部品受注センター
受付　月曜～金曜　９：３０～１８：００、土曜　９：３０～１２：００、１３：００～１７：００
（日曜・祝日・弊社休日は除く）
電話（フリーダイアル）　：　**0120-5-81095**
一般電話　：　**0538-43-1161**
ファックス（フリーダイアル）：　**0120-5-81096**

＜ご注意＞
フリーダイアルは、携帯電話、ＰＨＳではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

修理のご依頼／修理についてのご相談窓口

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障？ちょっと調べてください」または「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。それでも異常のある時は、必ず電源プラグを抜いてから、ご購入店へご連絡ください。ご購入店がわからないときやお近くにないときは、パイオニア修理受付センターへご相談ください。（沖縄県を除く）

● パイオニア修理受付センター（沖縄県を除く全国）
受付　月曜～金曜　９：３０～１８：００、土曜　９：３０～１２：００、１３：００～１７：００
（日曜・祝日・弊社休日は除く）
電話（フリーダイアル）　：　**0120-5-81028**（ゴー パイオニア）
一般電話　：　**03-5496-2023**
ファックス（フリーダイアル）：　**0120-5-81096**

＜ご注意＞
フリーダイアルは、携帯電話、ＰＨＳではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

● 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）
受付　月曜～金曜　９：３０～１８：００（土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）
一般電話　：　**098-879-1910**
ファックス（フリーダイアル）：　**098-879-1352**

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号
<TWKZZ/02C00001>
<VRA1211-A>